

自己点検評価報告書 第13報

(令和4年～令和7年度 自己点検・評価報告書)

2026年3月

独立行政法人国立高等専門学校機構

長野工業高等専門学校

目 次

はじめに	1
1. 令和4年度自己点検・評価表	2
2. 令和5年度自己点検・評価表	9
3. 令和6年度自己点検・評価表	14
4. 令和7年度自己点検・評価表	19

はじめに

長野工業高等専門学校長 早瀬 伸 樹

今の時代は、変化の激しい、将来予測が困難な「VUCA（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性）」の時代であると言われています。このような時代を生き抜くために求められるのは、知識の詰め込みによる受験型学習ではなく、自ら課題を見だし、主体的に学び、楽しみながら創造性と専門性を高めていくことのできる、柔軟で変化に対応できる人財です。こうした人財を育成する教育機関として、高等専門学校（高専）は改めて注目されています。

国内では中学生人口の減少に伴い高等学校の再編が進む中、滋賀県において令和10年に県立高専設置が計画されているほか、愛知県や福岡市等においても新設の検討が進められています。さらに海外においても、タイ、モンゴル、エジプトに日本の高専制度をモデルとした教育機関が設置されるなど、高専教育への期待は国内外で高まっています。

本校では令和4年度に従来の5つの学科を再編し、「工学科」として新たな教育体制をスタートいたしました。令和8年度には改組後の第1期生が5年生となり、新体制が完成年度を迎えます。本カリキュラムでは、「優れた技術者は、優れた人間でなければならない。」という本校の教育理念のもと、分野横断科目や4・5年次に開講する副専攻科目の履修を通じて、広い視野と幅広い知識を備えた技術者の育成を目指しています。また、地域と連携した課題解決型学習や、長野県の歴史・文化を学ぶリベラルアーツ科目を取り入れるなど、幅広い学びを可能としています。

本報告書は、独立行政法人国立高等専門学校機構第4期中期目標・中期計画期間後半から第5期中期目標・中期計画期間の中間地点における長野高専の教育・研究・管理・運営の進捗状況を取りまとめたものです。今回の自己点検・評価は、本校における教育・研究・管理・運営の継続的改善を推進し、教育研究の質の維持・向上を図ることを目的としています。学校全体として教育改善を組織的かつ重点的に進めるためには、学校運営の基幹をなす執行会議及び各種委員会における日常的な検討と意見集約に加え、自己点検・評価や外部評価を活用し、PDCAサイクルを着実に機能させることが不可欠です。本校では、これらの取組を通じて教育改善活動の検証を行い、その実効性の向上に努めてまいります。

長野高専は、今後も着実に教育改善を推進するとともに、地域と連携した学校運営を展開し、社会から要請される高等教育機関としての使命を果たしてまいります。引き続き、関係者の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年度 自己点検・評価表

承認日

令和5年3月16日

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	掲載資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外観の意見
1. 教育の内部質保証	自己点検評価	1	自己点検・評価を実施するための方針、体制が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定され、自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。		総務主事 (教育改善委員長)	1.1 長野工業高等専門学校自己点検評価の実施に関する要項 1.2 教育の質保証のための各種点検・改善システムに関する申合せ 1.3 R2年度計画 実績調査に対する自己点検評価 1.4 運営会議議事概要(工学科の3ポリシー) 1.5 1.5 執行会議議事概要(専攻科の3ポリシー) 1.6 授業改善システム(抜粋) 1.7 令和3年度教育改善報告書 1.8 令和3年度長野高等の満足度調査報告書 1.9 自己点検評価報告書 https://https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/self/index.php	・自己点検評価の実施に関する要項が定められており、6つの各種点検・改善システムの申合せに従って、自己点検・評価が行われ、その結果が公表されている。 自己点検評価項目による点検システム 年度計画項目による点検システム DP、CP、APの点検・改善システム 各委員会の重点項目の点検システム 授業改善システム 学生への支援体制点検システム	5	一部の自己点検評価項目による点検システムは、令和4年度に初めて実施されるものであり、継続して実施していく。	4.2	・点検評価項目において、重要度・困難度、目標値の設定、また、主要な項目については、アウトプット(アウトカム)情報等の資料提供があれば客観的に評価できるのではないかと、毎年1つでもよいので、テーマを決めて校内全体で議論できる場があるとうい。 ・自己点検・評価の定期的実施に関しては、最低でも年2回は実施してほしい。 ・アンケート回収率15%は少々低いと思われる。 ・アンケートが多岐にわたり、短時間で説明では評価が難しい。もう少し細分化して評価を希望する。 ・今後はアンケートだけではなく、直接ヒアリングすることが必要かと思う。 ・アンケートは、卒業生などにやみくもに送るのではなく、研究室などにピックアップしてもらったところに対して行うようにすると回答率が上がると思う。 ・自己点検・評価表からのイメージしか持てませんが、回収率の低いところが気になる。内訳質のものかわからないので何とも言えないが、校内の様子から判断した。
		2	学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が、教育の質の改善・向上に繋がっているか。		総務主事	2.1 R01 卒業生企業等アンケート報告書 2.2 令和2年度 教育改善報告書 本文 2.3 令和3年度教育改善報告書	・令和元年度にアンケート調査を実施し、意見聴取が行われ、要望等を各委員会に教育改善委員会より提言した。	3	アンケートの回収率が15%ほどであり、高めることが望まれる。		
	3つのポリシー	3	準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者の選入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)が定められており、社会の状況等の変化に応じて見直されているか。	教務主事	教務主事 専攻科長	3.1 準学士課程および専攻科の3つのポリシー(ホームページ掲載) 3.2 執行会議等の各種資料	・令和3年度に、改組新学科である工学科の3ポリシーを新たに策定し、現行の5学科および専攻科のアドミッションポリシーに入学選抜の基本方針を入れる修正を行った。 ・専攻科については、令和4年度は方針および教育課程の見直しは行っていない。引き続き社会の状況の変化に応じて見直しを行う。	5	社会状況に応じて見直ししていく。		
2. 組織及び教員・教育支援者	学校組織	4	教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか。	事務部長	事務部長	4.1 組織図 4.2 内部組織規則 4.3 職務分掌一覧 4.4 会議資料(議事概要)	・本校の使命・目的を達成するために、教育研究の基本的な組織が適切に構成され、各組織においても適切な関連性が保たれている。	4	教育研究活動の充実及び社会の要請等に対応していくため、必要に応じて適切に見直ししていく。	3.9	・学生の満足度も重要ですが、職員の満足度も高める視点も大切。 ・評価基準が少々あいまい。 ・FDの効果検証は時間がかかるものと思いますが、何らかの評価は必要。 ・学校内の組織、役割りを理解していないので評価が難しい。 ・専門知識のある職員が多く配置されていることは学生にとってとてもよい環境である。 ・自己点検・評価表からのイメージしか持てませんが、具体的な評価手法の検討があげられますが、評価項目の流動性はいつもあることだと思います。
	教員等の配置	5	準学士課程、専攻科課程において、一級及び専門の教員並びに教育支援者が適切に配置されているか。	教務主事	教務主事 専攻科長 事務部長	5.1 【抜粋】2022学校要覧(組織図・専任教員一覧) 5.2 2022後期末科専攻科開講制 5.3 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査に係る基本データ(別紙1) 5.4 学則別表第3-6(専攻科) 5.5 専攻科教員氏名経歴概要等を記載した書類 5.6 学修総まとめ科目「特別研究II」課題一覧	・準学士課程においては、一級及び専門の教員を各科目担当者として配置し、必要に応じて技術支援部より技術職員を配置している。 ・専攻科課程においては、生産環境システム専攻に機械工学、電気電子工学、土木工学を専門とする教員を、電気情報システム専攻には電気電子工学を専門とする教員を配置した。	4	学科再編による変更点を確認し適切に配置していく。		
	教員の評価	6	教員の採用や昇任に関する基準があり、適切な運用がされており、教員の教育研究活動に対して、定期的な評価が行われているか。	教務主事	校長 教務主事	6.1 長野工業高等専門学校教員選考基準 6.2 長野工業高等専門学校における教員の昇任選考に係る取扱い 6.3 長野高専における教職員顕彰に関する申合せ	・教員の採用や承認は、これらに関する基準に則り行われている。 ・年度当初の業務計画や研究業績一覧等により、教員の教育研究活動に対する評価を実施している。	4	必要に応じて基準を見直しながら適切な評価等を継続していく。		
	FD活動	7	FD・SD活動が実施され、改善等に基づいているか。	総務主事	総務主事 (教育改善委員長)	7.1 令和3年度教育改善報告書	・令和3年度は計4回のFD研修会を実施した。FD・SDは実施されているが、教育およびその支援等の具体的評価手法が定められていない。	3	教育およびその支援等の具体的評価手法について検討する。		

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見
3. 学習環境及び学生支援	学習環境	8	学校の施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。		事務部長	8.1 施設利用実態調査 8.2 令和4年度第1回安全衛生委員会議事要旨	・学校の施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用している。	4	学校の施設・設備の有効活用を図るため、長期的展望に立ち、環境に配慮した計画的、積極的な整備を行う。	4	<ul style="list-style-type: none"> ・学生のアントレプレナーシップ、特に社会起業家的精神を教えることは、今後不確実性が増す社会においても日本の教育においても非常に重要な要素となる。 ・卒業やスタートアップを目指す学生に対する支援の充実を期待。 ・あらゆる方向から学生支援サポートを最優先に行って下さい。 ・情報セキュリティは公私区別などは課題です。 ・メンタルヘルスは担任+チューター制などとあわせて行うと良い。 ・図書以外にもインターネット上の有用な情報もライブラリー化したらどうか。 ・昔に比べてメンタル面で弱くなった学生が多いような気がする。社会に出て一番問題となる課題なので学校としてメンタル教化の取り組みをしていただきたい。 ・状況に応じて検討しながら継続してほしい。 ・自己点検・評価表からのイメージが持てません。学校の校内配置の案内があったり、外部から来る人への配慮がないように思う。どこでどんな活動がなされているのかオープンになっているといい。
		9	学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。		教務主事 (情報教育センター長) 総務主事 (教育改善委員長)	9.1 令和3年度長野高専の満足度調査報告書 9.2 BYOD購入依頼文書 9.3 BYOD+PCに関する学生アンケート 9.4 (簡易版)スリッチ AP 配置図 20221107 9.5 ネットワーク接続マニュアル,教職員 9.6 校内無線LANへの接続方法,Windows10 9.7 長野高専 情報システム関連 FAQ(学生向け)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の満足度調査が行われ、有効に活用できている。 ・令和3年度の1年生から、BYOD(BringYourOwnDevice:個人所有端末)を導入し、学生個人のPCを授業に活用している。BYODを推進することにより、PCなどの情報機器をより身近なものとし、卒業までの在学中にICTを活用するスキルを高めるのみならず、最新のPC環境を学生が利用できるようになった。 ・全学生を対象としたBYODの無線LAN環境を提供している。 ・認証方式をIEEE802.1x認証としてセキュアなネットワーク接続環境を提供している。 	4	今後も継続する		
		10	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究に必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。		総務主事 (図書館長)	10.1 令和2年度図書館蔵書統計 10.2 学校要覧図書館のページ【2022学校要覧から抜粋】 10.3 令和3年度後期図書館利用状況報告	<ul style="list-style-type: none"> ・図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究に必要な資料を教員からの推薦により購入し系統的に整理し、有効に活用されている。 令和3年度の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書総数 82,387冊(令和2年度:74,348冊) ・入館者数 34,100人 ・退出冊数 5,404冊 ・帯出者数 2,766人 	4	今後も継続する		
	11	新入生、留学生、編入生に対して、履修や施設・設備等に関するガイダンスを実施しているか。		教務主事 専攻科長	11.1 新入生の年度当初の日程について 11.2 新入生のための学習のアドバイス 11.3 令和4年度専攻科ガイダンス実施要領 11.4 外国人留学生生活ガイドブック	<ul style="list-style-type: none"> ・準学士課程においては、新入生、留学生、編入学生に対しては、授業開始までに、ガイダンスを実施している。 ・専攻科課程においては、1年生は入学式当日に、2年生については別途機会を設けてガイダンスを実施した。2年生については学位申請ガイダンスも実施している。 	4	様々な変更点を含め、適切なガイダンスの実施を継続する。			
	12	学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。		教務主事 専攻科長 学生相談室長 総務主事(教育改善委員長)	12.1 学級担任ガイドブック 12.2 学生相談室報告 12.3 2021年度メール目録投書メール対応状況一覧 12.4 令和3年度長野高専の満足度調査報告書 12.5 内部規則規程(専攻長) 12.6 専攻科1年生面談予定	<ul style="list-style-type: none"> ・準学士課程においては、学級担任制により、学生の相談・助言を行っている。 ・メール目録等、学生の意見や苦情を受けるシステムが構築され、対応は遅延なく行われている。 ・専攻科課程については、専攻長および専攻科長が相談・助言を行っている。 	4	学級担任ガイドブックの確認や見直しを継続して進める。学校としての体制を、学生に周知する仕組みを検討する。			
	13	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等が行われているか。		教務主事 専攻科長 グローバル教育推進センター長 (国際交流センター長) 学生相談室長	13.1 令和4年度第1回国際交流センター会議議事概要 13.2 外国人留学生チューターの手引き 13.3 相談室会議資料 13.4 障害のある学生に対する特別支援	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前に保健調査票による保護者からの申し出等により特別な支援を必要とする学生を把握し、入学時より支援可能な体制を整えている。 ・留学生(3,4学年)に対してはチューターを選考し、学習と生活の支援を計画通りに実施している。また、留学生の生活支援として、業務委員と留学生の近況の情報を共有することし連携体制を整えた。 ・専攻科課程については、専攻長および専攻科長が学習支援や生活支援を行っている。 	4	各学生の状況に応じて支援を行っている。今後も継続する。			

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見	
学生支援	学生支援	14	学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が機能しているか。	学生主事 専攻科長 学生相談室長	学生主事 専攻科長 学生相談室長	14.1 学生相談室報告 14.2 経済支援実績R04学生支援委員会議事概要 14.3 学生支援委員会資料 14.4 学生支援委員会資料 別冊奨学金等の構内基準一覧 14.5 経済支援周知チラシ保護者向け 14.6 学級担任業務ガイド	・本科生に対しては学級担任をおき、また専攻科生に対しては専攻長が、きめ細かな指導・支援を行っている。また、学級担任業務ガイドをつくり(随時更新し)、社会状況に応じた指導・支援を行っている。さらに、個別の問題については学生相談室と連携して支援を行っている。	4	個別の問題にチームで対応することになるが、専門家を含めたチーム内の連携を高めていく。			
		15	進路指導およびキャリア教育の体制が機能しているか。			学生主事	15.1 進路支援室会議議事概要 15.2 実務訓練の手引き 15.3 進路選択ガイド	・本科生に対しては学級担任や系長(学科長)が、専攻科生に対しては専攻長や専攻科長が、きめ細かな指導・支援を行っている。また、学生向け進路選択ガイドをつくり(随時更新し)、状況に応じた指導・支援を行っている。 ・本科生の実務訓練は教務委員会と4学年会が中心となり、また専攻科生の学外実習は専攻科運営委員会が中心となって支援を行っている。 ・令和4年度から進路支援室が中心となってキャリア講演会、進路講演会、卒業生講演会、進路説明会を実施している。	4	本年度から進路支援室を新設し、支援体制を強化していく。		
		16	課外活動に対する支援体制が、適切に機能しているか。			学生主事	16.1 2022年度部・同好会の指導に関するガイドライン 16.2 部・同好会指導教員一覧 16.3 ケガ等報告書 16.4 長野高専課外活動指導員マニュアル 16.5 課外活動指導員業務報告書 16.6 団体結成審査方針の見直し 16.7 部・同好会の校内手続き 施設使用願	ガイドラインやマニュアルをつくり(随時更新し)、適切な支援を行うとともに、校内手続きのスマート化をはかっている。 「団体結成願(申請)の許可基準について」、「部・同好会活動の継続許可基準について」(執行会議承認)等により、団体数や活動の質をコントロールし、それを支える教職員の支援体制が適切に機能するよう努めている。	4	教職員の負担軽減のため、課外活動指導員(非常勤職員)の増員を引き続き行っていく。		
		17	学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。			寮務主事	寮務主事	17.1 寮生会との協議会開催日程 17.2 寮生活に関するアンケート集計結果	・勉強会についてはコロナ過であるため、本年度は1回のみ開催している。 ・満足度調査は実施している。 ・寮生会との懇談会は月に1回程度実施している。	4	今後、勉強会の実施回数を増やしていく。	

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見	
4. 准学士課程の教育課程・教育方法・学習成果	教育課程の編成	18	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成されているか。	教務主事	教務主事	18.1 教育課程表 18.2 系統図	・カリキュラムポリシーに基づき、理数系基礎科目及び人文社会系の教養科目は低学年を中心に、工学系の科目は高学年を中心に体系的に配置している。	4	学科再編後のカリキュラムについて、さらに整備を進める。	4	・理工系学生に求めるのは専門性はもちろんですが、自分で考え行動すること、さらにメンタルに強い人物になることです。 ・学習成果の見える化が課題となります。 ・文理融合教育を望む。 ・小項目No20の改善点に「新たな教育手法……」とあるが、取り組み案などがあつたら提示して欲しい。	
		19	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。			19.1 教育課程表 19.2 系統図 19.3 シラバス(科目の抜粋)	・実践的な問題解決型学習、アクティブラーニング、実験実習、卒業研究などにより、課題の発見能力、解決能力、及び論理的に表現する能力を育成する授業科目を編成している。 ・異文化理解、コミュニケーション力を育成する授業科目を編成している。	4	学科再編により対応させて配置したカリキュラムの確認を継続する。			
	授業形態、学習指導法	20	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	教務主事	教務主事	20.1 授業公開(教員相互参観)アンケートより(抜粋)	・主体的な学習活動に向けた教材の利用や、新たなオンライン教材の活用、遠隔授業でも利用できるカメラやPCの設置など、様々な工夫を行っている。	4	新たな教育手法とあわせて、教育改善を継続して進める。			
		21	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。			21.1 シラバス(科目の抜粋) 21.2 授業改善システム(抜粋)	・カリキュラムポリシーに沿って設定された到達目標を記したシラバスを作成し、活用している。	3	再編によるWebシラバスの問題点にも対応しながら改善を進める。			
	成績評価・進級及び卒業判定	22	成績評価・単位認定及び卒業認定の各基準が学生等に周知されているか。	教務主事	教務主事	22.1 教育課程表 22.3 シラバス(科目の抜粋)	・シラバスにおいて、成績評価および単位認定の基準を明記している。 ・教育課程表において、進級および卒業認定の基準を明記している。	4	必要に応じて改善を進める。			
		23	成績評価は適切に行われているか。			教務主事 総務主事(教育改善委員会)	23.1 シラバス通りに成績評価が行われているかの一例 23.2 授業改善システム(エビデンスのチェック)	・各教員により成績評価が行われ、教育改善委員会によりエビデンスの確認を行っている。 ・成績評価がシラバス記載の通りに実施されているかの自己点検、および教育改善委員会におけるチェック体制と整えられ、適切に実施されている。	4			点検がより効果的に運用できる体制を検討する。
		24	進級判定、卒業認定が適切に行われているか。			教務主事	24.1 成績判定会議の開催 24.2 年度末成績一覧	・卒業、進級判定のための資料を作成し、教員会議において確認している。	5			必要に応じて改善を進める。
	学習・教育の成果	25	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	教務主事	25.1 R3学生表彰受賞者一覧 25.2 R3特別取組賞受賞者一覧 25.3 年度末成績一覧	・各科目の平均点、卒業研究発表、学生表彰により、学習・教育の成果を確認している。	4	必要に応じて改善を進める。			
		26	卒業時の学生および卒業生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。			教務主事	26.1 R3学習・教育目標の達成度自己評価調査票のまとめ 26.2 R3卒業生・修了生アンケート分析 26.3 R01卒業生企業等アンケート報告書	・卒業時の学習・教育目標達成度自己評価、ならびに卒業生・企業等アンケートにより確認している。	3			回答率の改善に向けて、新設した教学IR室を中心にさらに体制を整える。
		27	卒業後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。			教務主事	27.1 R3年度進路指導報告書 27.2 R3進路先一覧	・進路指導報告書の就職先および進学先から、学習・教育目標の成果が認められる。	4			必要に応じて改善を進める。

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見
5. 専攻科課程の教育課程・教育方法・学習成果	教育課程の編成	28	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的並びに準学士課程との連携および発展的に編成されているか。	専攻科長	専攻科長	28.1 学則別表第3-6(専攻科) 28.2 教育課程系統図	・融合複合・新領域で教育課程を編成しているため、系統図上は本科と結ばれていないが、本科で基礎的なことを学び、専攻科で応用的なことが学べるよう教育課程を編成している。	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・理工系学生に求めるのは専門性はもちろんですが、自分で考え行動すること、さらにメンタルに強い人物になることです。 ・文理融合教育を望む。 ・ダブルディグリー制度がもっと評価されると良い。 ・本科が学科再編されたので、専攻科とのつながりも一工夫し、更に良い学習環境を整備されればと思う。 ・自己点検・評価表からのイメージしか持てません。シラバスが長野独自のものなのかわかりませんが、高専機構の存在が気になります。学生の持っているスキルが素晴らしいと思う。
		29	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	専攻科長	専攻科長	29.1 シラバス抜粋	・授業科目の内容については、シラバス作成時に内容の検討を依頼している。また、社会からの要請に対応し、創造力・実践力を育む科目として「機能デザイン」、「学外実習」、「実践工学演習」を実施、異文化や地域の文化を理解する科目として「英語特論Ⅰ・Ⅱ」を実施している。	4			
	授業形態、学習指導法	30	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	専攻科長	専攻科長	30.1 第13回委員会資料(R03専攻科運営委員会後期活動概要)	・ICT機器、通訳授業、授業のアーカイブ作成など工夫している。	4			
		31	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成・活用され、研究指導が適切に行われているか。	専攻科長	専攻科長	31.1 生産環境システム専攻シラバス 31.2 電気情報システム専攻シラバス 31.3 学修総まとめ科目の授業に関する実施計画書 2022生産環境・機械工学 31.4 学修総まとめ科目の授業に関する実施計画書 2022生産環境・電気電子工学 31.5 学修総まとめ科目の授業に関する実施計画書 2022生産環境・土木工学 31.6 学修総まとめ科目の授業に関する実施計画書 2022電気情報・電気電子工学 31.7 R04特別研究Ⅱ発表会実施要項	・カリキュラム・ポリシーに沿ってシラバスを作成している。また、授業開始時にシラバスの内容を説明するとともに、授業実施のスケジュールの説明等に活用している。 ・大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた個表を持つ指導教員が研究指導を行うとともに、研究成果を特別研究発表会において発表させている。	4			
	成績評価・修了判定	32	成績評価・単位認定及び修了認定の各基準が学生等に周知されているか。	専攻科長	専攻科長	32.1 R4専攻科学生便覧	・成績評価および単位認定についてはシラバスを使って説明している。修了認定については年度当初のガイダンスで学生便覧掲載の学則別表3～6を説明している。	4			
		33	成績評価は適切に行われているか。	専攻科長 総務主事 (教育改善委員会)	専攻科長 総務主事 (教育改善委員会)	33.1 シラバス通りに成績評価が行われているかの一例 33.2 授業改善システム(エビデンスのチェック)	・成績評価がシラバス記載の通りに実施されているかの自己点検、および教育改善委員会におけるチェック体制と整えられ、適切に実施されている。 ・エビデンスの提出を受け、成績評価が適切に行われているか教育改善委員会で点検している。	4	点検活動がより効果的に運用できる体制を検討する。		
		34	修了認定が適切に行われているか。	専攻科長	専攻科長	34.1 R3専攻科「産業システム工学」プログラム修了判定資料 34.2 臨時執行会議・第12回教員会議議事概要	・専攻科運営委員会および教員会議で確認した後、執行会議で修了判定を行っている。	5			
	学習・教育の成果	35	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	専攻科長	35.1 R3 専攻科2年生・総合判定表 35.2 R4.3連携教育P修了判定資料	・ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められ、27名全員の専攻科修了を認めた。また、JABEEプログラムは25名、連携教育プログラムは2名の修了を認めた	4			
		36	修了時の学生および卒業生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	専攻科長	36.1 R03専攻科修了生到達度調査 AP 36.2 R03専攻科修了生到達度調査 AE 36.3 R03ルーブリック形式による学習・教育目標の達成度評価確認表(学生用 20200304) 36.4 R03学習・教育目標の達成度評価確認(E渡辺)	・ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果は、修了時の学生面談や達成度評価確認表等で確認した。	4			
		37	修了後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	専攻科長	37.1 専攻科の修了状況 37.2 過去5年間の学位取得状況と進路決定状況(H30-R3) 37.3 専攻科の就職状況 37.4 専攻科の進学状況 37.5 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査に係る基本データ(別紙1)	・大学改革支援・学位授与機構に学位申請した25名全員の学生(工学)が授与された。また、豊橋技術科学大学との連携プログラム生2名は同大から学生(工学)が授与された。 ・進路は全員就職または進学が決定しており、学習・教育の成果を確認した。	4			

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見			
6. アドミッション・ポリシーに沿った学生の受け入れ	進士課程の学生の受け入れ	38	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が適切に実施されているか。		教務主事	38.1 令和5年度長野高専入学者募集要項(抜粋) 38.2 R5推薦選抜実施要領(抜粋) 38.3 R4学力選抜実施要領(抜粋)	・科学技術への関心を持つことを出願資格に明記し、調査書および面接により推薦選抜を実施している。 ・数学、理科、英語に傾斜配点を行った学力検査と調査書により学力選抜を実施している。	3	アドミッション・ポリシーに沿って選抜を実施しているが、合致する形に向けては改善の余地がある。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・入学志願者確保の取組として、高専の特徴や魅力の発信を積極的に行うとともに、特に、高専における女子学生の存在をアピールし、女子中学生の理系進路選択を後押ししていただきたい。 ・受検者増加対策を期待。 ・新たな手法も検討して欲しい。 ・中学校だけでなく、小学校へも説明をする必要あり(出前授業の実施はあるようですが、もっと増やするか、学校紹介をした方が良い。) ・高専卒業生による紹介、経験談なども必要。 ・経済界(産業界含む)へのアピールも必要。 ・数学IRなどにより強みの分析などから特徴のアピールをするの良い。 ・アドミッション・ポリシー、ディプロマポリシーなど教育専門用語は欄外にでも簡単な説明が欲しい。 ・中学生に向けた広報活動は新たな観点や方法で、積極的に行っていてもよいのでは。(中学校へ向かいでの説明会の際は、職員のみではなく学生のかも借り、学生目線でのアピールを直接的に行っていく等) ・自己点検・評価表からのイメージしか持たせません、学部が工業系だけに、なったことも今回初めて知りましたが、この事が特化した理念に通じると思っています。また、進路選択の多様性も売りになると思う。 			
		39	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。		教務主事	39.1 教学IR室報告(R4入学者選抜)	・教学IR室を新設し、入学者の追跡調査ならびに選抜方法の改善への検討をしている。	3	今年度、教学IR室を新設し、これまで以上に検証を進めることとしている。					
		40	受検者数増加対策は効果的に行われているか。		入試広報室長 教務主事 総務主事(広報企画室) 男女共同参画推進室長	40.1 R4一日体験入学実施案 40.2 令和4年度入試広報活動実施状況(入試広報室会議資料) 40.3 男女共同参画推進の事業例	・一日体験入学を実施し、中学生は学科再編を行った工学科のすべての系での体験授業に参加した。 ・中学校での対面での説明会、およびオンラインでの説明会を実施し、動画をホームページでも公開している。 ・出前授業の実施は、長野高専を多くの小中学生に知ってもらう機会となっている。 ・東京2020/オリンピック「車いすバスケットボール男子」に日本代表として出場した藤澤潔先生による特別講義を開催した。	4	新たな手法の検討も進める。					
	専攻科課程の学生の受け入れ	41	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が適切に実施されているか。		専攻科長	41.1 R5専攻科学生募集要項	・アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が適切に実施している。	4						
		42	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。		専攻科長	42.1 専攻科における過去5年間の休学者および退学者	・過去5年間における退学者が1名であり、アドミッション・ポリシーに沿った選抜ができています。	3	入学選抜の改善に役立てた具体例はない。今後検証する。					
		43	受検者増加対策は効果的に行われ、入学定員と実入学定員との関係の適正化が図られているか。		専攻科長	43.1 R04.4年生進学講演会実施要項 43.2 学校要覧2022抜粋 入学志願者入学状況 43.3 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査に係る基本データ(別紙1)	・12月に本科4年生に対して進学説明会を実施している。 ・過去5年間の定員充足率は、生産環境システム専攻が140.0%、電気情報システム専攻が142.5%と多めである。	3	大学改革支援・学位授与機構からは130%程度となるよう指導されており、改善したい。					
	7. 研究活動の状況	研究体制と支援体制	44	研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。		研究主事	44.1 長野工業高等専門学校における研究活動に関する目的・基本方針および目標 44.2 特別経費運用方針および申請通知 44.3 令和4年度科研費申請書添削支援状況 44.4 RAAの雇用に関する取扱いについて	・特別経費配分による教育研究活動支援を実施している。 ・科学研究費補助金申請書の添削支援を実施している。 ・リサーチアドミニストレータによる研究活動支援や企業との共同研究マッチングを実施している。	4				3.9	<ul style="list-style-type: none"> ・社会ニーズを踏まえた特色ある研究活動を期待。 ・研究活動へのエフォートを更に高めていただきたい。 ・長野高専の強みとする技術は何か、目標設定して欲しい。 ・10年後を見据えた技術は何か、地域振興・産学連携を見据えた研究開発と推進をお願いしたい。 ・経済界への説明アピールをお願いしたい。 ・大学との連携についてお願いしたい。 ・世界の環境、情勢が目まぐるしく変化する中で求められる研究テーマを先取りして取り組むことで予算確保もできるのではないか。(時代遅れのテーマはやめる。) ・自己点検・評価表からのイメージしか持たせません、企業との協働をもっと進めてみてはどうか。起業できる学生が誕生すると良い。
			45	研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。		研究主事	45.1 令和4年度長野高専シーズ集 45.2 令和3-4年度科研費および共同研究等受入れ状況 45.3 令和3年度研究業績等一覧	・シーズ集の発行および技術振興会会員向け配布や産業展等での配布および説明を実施している。 ・研究業績の収集および公開等を通じて研究活動の状況把握を実施している。	4					
		46	研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。		研究主事	46.1 研究推進委員会規則 46.2 研究倫理委員会規則	・研究推進委員会を発足させ、研究業績等の収集や知財管理、外部資金獲得支援や紀要発行体制を整備した。 ・研究倫理委員会を発足させ、研究倫理審査等の体制を整備した。	4	各委員会設置が9月であったため、研究推進委員会の主な業務は次年度以降の活動となる予定。					

大項目	小項目	番号	点検項目	PowerPoint	担当	根拠資料	現状	自己評価	改善点	外部評価	外部の意見	
8. 地域貢献活動等の状況	地域貢献活動の計画	47	地域貢献活動が適切に定められ、計画的に実施されているか。		総務主事 研究主事	47.1 長野工業高等専門学校における地域貢献活動等に関する目的・基本方針および目標 47.2 令和3年度広報企画室の活動計画・取組結果【令和3年度教育改善報告書から抜粋】 47.3 令和4年度地域共同テクノセンター事業（ご案内） 47.4 令和4年度地域共同テクノセンター層	・長野高专における地域貢献活動等に関する目的・基本方針および目標を定めている。 ・サイエンスツアー（出前授業）、サイエンス・ライブ（公開講座）、学外開催の各種科学イベント、県内各地の産業フェア等に計画の上、出展している。 ・テクノセンターにおいて44のリカレント教育講演等を企画し実施中。	5	令和3年度までコロナ禍で地域貢献活動に制約があったが、令和4年度は徐々に制約が少なくなりつつあり、感染予防に配慮しながら実施を継続していく。		3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献・連携の取組や学生活動等について、積極的な広報活動を行うことで、高专の特徴や魅力を地域社会に伝えることが出来ると思う。 ・経済界への説明アヒールをお願いしたい。 ・中宿ノ商標へのアヒール不足（学生受け入れについても同じ） ・良く産学連携がなされていると思う。 ・コロナが収束すればより活発になることを期待。 ・コロナも抜け出しつつあるので、地域産業に更なる貢献を。 ・コロナ5類になってからの実施状況に期待。継続を。 ・自己点検・評価表からのイメージしか持てません。この地に高专さんがあることを高专機構の枠にとらわれずやる事を工夫しないと地域貢献活動の特色を出すことは難しいと思う。
	地域貢献活動の成果	48	地域貢献活動の目的等に沿った成果が得られているか。		総務主事 研究主事	48.1 令和3年度広報企画室の活動計画・取組結果【令和3年度教育改善報告書から抜粋】 48.2 令和4年度地域共同テクノセンター講座実施計画	・サイエンスツアー（出前授業）、サイエンス・ライブ（公開講座）、学外開催の各種科学イベント、県内各地の産業フェア等において、産業界、地方公共団体、コミュニティ、他の教育機関と連携することにより、社会活動に貢献している。 ・リカレント教育講座等に企画担当者を設置し、講座内容の充実や改善を行った。	4	今後も継続していく			
	地域貢献活動の改善	49	地域貢献活動の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。		総務主事 研究主事	49.1 令和3年度広報企画室の活動計画・取組結果【令和3年度教育改善報告書から抜粋】 49.2 令和3年度地域共同テクノセンター講座アンケート結果	・地域貢献活動の実施状況を把握するとともに、アンケート調査を実施し改善を図っている。	4	今後も継続する			
9. 財務及び管理運営と情報公開	財務関係	50	適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	事務部長	事務部長	50.1 2022 予算配分方針（確定版）	・適切な収支に係る計画等を策定し、学内に明示している。	4		4	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた人的、財政的資源の優先順位を意識した運営に期待。 ・もっと経済界（経産者協会など）を利用すること。 ・大項目1の教育の内部質保証PDCAをしっかりと回して、課題に対して優先順位をつけて予算執行をしてください。 ・自己点検・評価表からのイメージしか持てません。長野高专基金の話もありましたが、企業とコラボして商品開発をしてみてもどうか、トピックは学校の知名度を上げると思う。 	
		51	適切に予算が配分され、その執行状況の確認が行われているか。		事務部長	51.1 2022学内当初予算配分（確定版）	・適切に予算を配分し、執行状況の確認を行っている。	4	学校運営上の課題を把握し、予算の適正な配分に努める			
		52	適切に予算が執行され、その結果が公表されているか。		事務部長	52.1 HP:情報公開 学校案内 国立長野高专	・適切に予算を執行し、法令上、公表が義務付けられている書類については、その結果を公表している。	4				
	管理運営	53	各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	事務部長	53.1 内部組織規則 53.2 各委員会規則 53.3 事務組織及び事務分掌規則 53.4 令和3年度教育改善報告書	・各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動している。	4					
		54	情報セキュリティを含む危機管理等の安全管理体制が整備されているか。	総務主事 事務部長	54.1 リスク管理室規則 54.2 サイバーセキュリティ管理・推進・教職員 規則 54.3 2022年度防災マニュアル（防災訓練用組織図あり） 54.4 情報セキュリティ利用者規則	・情報セキュリティを含む危機管理等の安全管理体制が整備されている。	4					
		55	管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組が組織的に行われているか。	事務部長	55.1 管理運営等の研修会への参加リスト	・管理運営に関わる資質の向上を図るため、機構本部が実施する研修等への参加を積極的に行っている。	4					
		56	外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	研究主事	56.1 特別経費運用方針、申請通知および配分結果 56.2 令和4年度科研究申請書添削支援状況	・外部資金公募の周知や科研究申請支援として添削支援を実施した。	4	外部資金公募情報の周知や申請促進活動がさらに必要。				
	情報公開	57	外部の教育資源を積極的に活用しているか。	研究主事	教務主事 専攻科長 研究主事	57.1 実務訓練の手引き	・準学士課程4年次では、夏季休業中に様々な企業・機関において実務訓練を実施した。 ・専攻科課程においては、学外実習では企業等で540時間実習を行った。また、実践工学演習では企業等に勤務する方による講演を実施した。	4	企業・機関の協力を頂きながら継続して進める。			
58					教育情報（学校教育法施行規則の事項を含む）が公表されているか。	総務主事 事務部長	58.1 HP:教育情報 学校案内 国立長野高专	次のURLのホームページに掲載している。 https://www.nagano-nct.ac.jp/guide/educational/index.php	4	今後も最新の情報に更新し継続する		

令和5年度 自己点検・評価表

承認日

令和6年3月21日

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	改善点	小項目評価	大項目評価	外部の意見
1. 教育の内証保証	自己点検評価	1	自己点検・評価を実施するための方針、体制が整備され、点検・評価の基準、項目等が設定されており、改善を測る指標になっているか。また、自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	総務主事 (教育改善委員長)	1. 自己点検・評価の事項は改善を測る指標になっているか。 2. 点検・評価の数値基準を定めているか。 3. 点検・評価を四半期ごとに実施しているか。 4. 四半期ごとに点検・評価手法を再検討しているか。	長野工業高等専門学校自己点検評価の実施に関する要項 自己点検評価報告書(ホームページ) 以下の6つの各種点検・改善システムの報告書 自己点検評価項目による点検システム 年度計画項目による点検システム DP、OP、APの点検・改善システム 各委員会の重点項目の点検システム 授業改善システム 学生への支援体制点検システム	1. 昨年度参加者の指摘より、自己点検・評価の評価手法を変更し、実施した。 2. 評価手法として、点検事項の達成度を数値化することとした。 3. 上期での点検・評価が十分に行われなかった。 4. 手法の再検討を行いながら評価作業を行った。	80	4	令和4年度参加者にて、自己点検・評価の評価基準が曖昧であると指摘された。 これを受けて、年度始めより検討し、6月に提案した。	4.5	4.3	前年の実績に対して、今年この評価の項目が、どうアップしているかとか、ダウンしているかとか、何ができていないか、何ができていないか、この辺がもう少し分りやすくならないと思えます。 それと、評価制度に対するスタンスです。項目のこれらもまたというのは実行にすぎない、実行したことによって学生の支援にどのようにつながっているのかとか、どのような効果が出たのかとか、学生からどういう反応があったのかという評価の進捗といいますが、このようなことを念頭に置いてやることが大事かと思えます。
		2	学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が、教育の質の改善・向上に繋がっているか。	総務主事	1. 学校構成員の意見聴取の規則を定めているか。 2. 意見聴取の仕組みが定められているか。 3. 実施の効果について検討しているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	卒業生・修了生および企業に対するアンケート 調査実施結果 教育改善報告書	1. 学校構成員および学外関係者の意見聴取の規則は、各種点検改善システムとして定めている。 2. 意見聴取の仕組みは、各種点検改善システムとして定めている。見直しを行い、一部修正を行った。 3. 実施の効果は教育改善委員会にて検討した。 4. 点検・評価手法の再点検を行った。	100	5				
	3つのポリシー	3	進学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラムポリシー)、入学者の選入に関する方針(アドミッションポリシー)が定められており、社会の状況等の変化に応じて見直されているか。	教務主事 専攻科長	1. DPを定めているか。 2. OPを定めているか。 3. APを定めているか。 4. 3ポリシーの見直しの必要性について検討しているか。	1-3. 進学士課程および専攻科の3つのポリシー 4. 執行会議資料 アセスメントプラン	1. 令和3年度に、改組新学科である工学科の3ポリシーを新たに策定し、現行の5学科および専攻科のアドミッションポリシーに入学選抜の基本方針を入れる修正を行った。 2. DP、OP、APを定めている。 3. 継続的な改善を進めるためにアセスメントプランを作成している。	80	4	社会状況に応じて見直ししていく。	4		
2. 組織及び教員・教育支援者	学校組織	4	教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか。	事務部長	1. 定期的に各種委員会が開催されているか。 2. 運営体制が機能しているか適時点検・確認しているか。	組織図、内部組織規則、校務分掌一覧、会議資料 (議事概要)	1. 年度末の執行会議・運営会議において、次年度の学校運営体制の見直しを行った。 2. 毎月の執行会議・運営会議で各種会議・委員会からの報告がなされ運営体制が機能していることを確認している。また、年度途中であっても、執行会議において必要があれば運営体制を見直しを行った。	100	5		5	4.3	
	教員等の配置	5	進学士課程、専攻科課程において、一般及び専門の教員並びに教育支援者が適切に配置されているか。	教務主事 専攻科長 事務部長	1. 一般科目担当教員を適切に配置しているか。 2. 専門科目担当教員を適切に配置しているか。 3. 教育支援者を適切に配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 2. 教員の専門分野と担当科目一覧 (学校要覧、時間割表) 3. 技術支援部の支援一覧 4. 執行会議資料	1. 教員および教育支援者を適切に配置している。 2. 担当科目数の確認とともに点検状況を報告。	80	4		4		
	教員の評価	6	教員の採用や昇任に関する基準があり、適切な運用がされており、教員の教育研究活動に対して、定期的な評価が行われているか。	校長 教務主事 専攻科長	1. 教員の採用や昇任に関する基準があるか。 2. 採用・昇任基準を適切に運用しているか。 3. 教員の教育研究活動を定期的に評価しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 採用、昇任などの人事規則 2. 執行会議資料 3. 教員顕彰 業務計画および校長面談の実施 4. 執行会議資料	1. 教員採用や昇任に関する基準が定められている。 2. 教員採用や昇任に関する基準が適切に運用されている。 3. 業務計画・報告などにより教員の教育研究活動が定期的に評価されている。 4. 採用や昇任の基準をより明確にするなど、点検が行われている。	100	5		5		
	FD活動	7	FD・SD活動が実施され、教育活動の改善等に結びついているか。	総務主事 (教育改善委員長)	1. FD研修会を3回実施しているか。 2. 実施FD研修会の効果を検討しているか。 3. SD研修会を3回実施しているか。 4. 実施SD研修会の効果を検討しているか。 5. 点検事項を再検討しているか。	1. 教育改善報告書 2. 20231120第4回教育改善委員会議事概要	1. FD研修会を年度実施した。 2. FD研修会を教育活動に生かすため、年度の途中で報告書を送り、研修を振り返ってもらうこととした。3月頃FD研修の効果についてのアンケートを予定し11/24メール送信。3/18教育改善委員会において総括を行った。 3. SD研修会を年度実施した。 4. SD研修会の効果検討はまだ。 5. FD研修会の評価方法を検討し年度末に実施した。	80	4		4		
学習環境	8	学校の施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。	事務部長	1. 定期的に施設の管理状況を点検し、良好な状態で維持保全しているか。 2. 安全衛生委員会による月1回の職場巡回を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	安全衛生委員会報告 キャンパスマネジメント委員会議事概要 施設の管理状況：点検・検査記録等	1. 安全衛生委員会にて、毎月職場巡回(4/17、5/16、6/20、7/13、8/29、9/21、10/17、11/15、12/13、1/17、2/15実施済み)を実施し、職場の安全衛生を点検し、委員会での適宜改善を図っている。 2. 施設の維持管理については、施設管理者による日常的な点検に加え、契約による定期点検や法定点検等を実施している。 3. 教室等の稼働状況を把握し資産の有効活用を図っており、今年度は施設利用・居室調査を7月に行った。結果は情報共有し、稼働率が低い居室等は有効利用に向け引き続き検討を行うこととしている。 4. 全校舎3階以上について、引違い窓の開口制限と屋外非常階段進入防止扉を設置予定	80	4		4			
		9	学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	教務主事 (情報教育センター長) 総務主事 (教育改善委員長)	1. 学生のニーズ調査を実施しているか。 2. セキュリティ研修を実施しているか。 3. ICT環境の保守・点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	1. 学生の満足度調査結果 2. 情報教育センター報告 3. 情報セキュリティ推進委員会議事概要 4. 情報教育センター議事概要	1. 卒業生・修了生アンケートにより満足度調査を行った。 2. 1年次は講義で実施している。2年以降については、ICT環境に関するニーズ調査とあわせてセキュリティ研修の実施方法を検討した。 3. 保守・点検は情報教育センターにて実施されており、今年度は教室において、受信状況の改善を求める意見がアンケートに寄せられた。 4. 点検事項の再検討を行った。	80	4		4		
	10	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されよう取り組みが行われているか。	総務主事 (図書部長)	1. 教職員・学生のニーズ調査を実施しているか。 2. 蔵書の点検を実施しているか。 3. 図書の利用状況の点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	図書館蔵書数 図書館利用状況	1. ブックハンティングを実施し、学生のニーズを把握している。 2. 蔵書の点検は、人員の不足により二度年実施されていない。 3. 図書の利用状況は月ごとに確認されている。 4. 点検事項の再検討を行った。	70	4					
11	新入生、留学生、編入生に対して、履修や施設・設備等に関するガイダンスを実施しているか。	教務主事 専攻科長	1. 新入生ガイダンスを実施しているか。 2. 留学生ガイダンスを実施しているか。 3. 編入生ガイダンスを実施しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 新入生の年度当初の日程について新入生のための学習のアドバイス 専攻科 新入生ガイダンス実施要領 2. 外国人留学生生活ガイドブック 3. 編入生入学式の日程表 4. 第8回教務委員会議事概要	1. 新入生ガイダンスを入学式当日および翌日に実施した。 2-3. 外国人留学生および編入生ガイダンスを入学式当日に実施した。 4. 第8回教務委員会において点検事項の確認を行った。	100	5						

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	改善点	小項目評価	大項目評価	外部の意見
3. 学習環境及び学生支援	学生支援	12	学生の自主的学習を進めるための相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	教務主事 専攻科長 学生相談室長 総務主事(教育改善委員長)	1. 学生の学習活動に関して相談できる体制を整えているか。 2. 相談・助言等を行う体制が機能しているか。 3. 相談対応など、状況確認がなされているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 学級担任ガイドブック 2. 学生相談室報告 3. メール目安箱、学生の満足度調査結果 4. 執行会議資料	1. 相談等を含む学級担任の業務をまとめたガイドブックを活用している。 2. 学生相談室ポスターにより周知し、多くの学生・保護者等が学生相談室を利用している。また、運営会議にて状況報告がされている。 3. メール目安箱が活用されている。 4. 点検事項の確認を行った。	100	5		4.5	この学習環境と学生支援の分野では、毎年、異なる手法やアプローチを取りながらも学生のニーズ調査やアンケートなどの項目が十分に実施されていないことがあるように思われます。こうした学習環境や学生支援は、受け身の学生側からどのように評価されているかを把握することも重要かと思えます。難しい面もありますが、学生側からの視点を取り入れることで、例えばガイダンスの整備状況だけでなく、その内容の理解や有益性に関する評価にもつなげることができると思います。	
		13	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等が行われているか。	教務主事 専攻科長 国際交流センター長 学生相談室長	1. 特別な支援が必要となる新入生の情報を共有しているか。 2. 特別な支援が必要となる留学生の情報を共有しているか。 3. 必要な支援や配慮事項を検討しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 保健調査票様式 2. 国際交流センター会議資料 外国人留学生チューターの手引き 3. 相談室会議資料 科目関連情報開通知 4. 執行会議資料	1. 入学前提出の保健調査票で家庭より連絡のあった事項を入学時まで学級担任と共有し、配慮の希望について家庭に確認している。 2. 機構本部からの特別な配慮を必要とする留学生の情報について、授業担当者間で共有している。 3. 点検とあわせて確認した。	100	5				
		14	学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が機能しているか。	学生主事 専攻科長 学生相談室長	1. 学生の生活や経済面に係る相談・助言等を行う体制が機能しているか。 2. 学生や保護者に対して各種奨学制度について周知する体制を整えているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	学生相談室報告 授業料免除利用状況 奨学奨励 学生支援委員会報告 学校いじめ対策委員会議事次第	1. 本科生に対しては学級担任が、専攻科生に対しては専攻科長が主に相談・助言等を行っている。また、メンタル面など専門性の高い相談事項については学生相談室と連携して支援を行っている。いじめ対策については、学生相談室で定期的に状況を把握するとともに、学校いじめ対策委員会を定期的に開催して情報を共有し、チームで対応している。 2. 学生や保護者に対して学生課学生係よりメールやホームページで各種奨学金の案内を行っている。 3. 点検事項の表現を一部変更した。	100	5				
	15	進路指導およびキャリア教育の体制が機能しているか。	教務主事 学生主事 進路支援室長 専攻科長	1. キャリア教育に関する各種セミナーを実施しているか。 2. 進路に関する相談・助言等を行う体制が機能しているか。 3. インターンシップが適切に行われているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	進路指導状況報告書 進路講演会実施要項、進路説明会開催要項 インターンシップ事業の実施要項と実施の手引きと実施数等 キャリアセミナー開催要項	1. 進路支援室が中心となってキャリア講演会、進路講演会、卒業生講演会、進路説明会を実施している。 2. 本科生に対しては学級担任と系長(学科長)が、専攻科生に対しては専攻科長が相談・助言等を行っている。また、進路決定に関する助言や書籍作成、面接対面については進路担当教員の他に、キャリアコーディネーターが相談にのれる体制を整えている。 3. 本科生の実務訓練は教務委員会と4学年会が中心となり、専攻科生の学外実習は専攻科運営委員会が中心となって実施している。 4. 各種セミナーの実施とインターンシップ(実務訓練、学外実習)の項目を分けて点検できるようにした。	100	5					
	16	課外活動に対する支援体制が、適切に機能しているか。	学生主事	1. 課外活動の指導教員を配置して、課外活動を支援しているか。 2. 教員または課外活動指導員用の指導マニュアルに従い、課外活動が安全に実施できているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	部・同好会活動の指導に関するガイドライン 長野高専課外活動指導員マニュアル 部・同好会 指導教員一覧 学生の病気・ケガに対する対応報告書	1. 部・同好会に指導教員を複数配置して、課外活動を支援している。また、平日の放課後と休日の午前中に課外活動指導員を配置して、教員の業務負担軽減を図っている。 2. 教員用「部・同好会活動の指導に関するガイドライン」、課外活動指導員用「長野高専課外活動指導員マニュアル」に従い、引率時や練習時でケガや体調不良となった学生が出た場合に医療機関を受診させるなど対応できている。なお、今年度は「長野工業高専専門学校における熱中症予防に関するガイドライン」を作成して、安全に指導できるように配慮した。 3. 点検事項について、マニュアルの存在でなく具体的な対応事例について点検するように変更した。	100	5					
17	学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	業務主事	1. 満足した生活の場を提供しているか。 2. 勉学の場を提供しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	勉強会の開催通知 満足度調査結果(学生との懇談会報告)	1. 12月31日締めで寮生活に関するアンケートを実施している。 2. 定期試験前に寮生主催で実施している。1日1時間の勉強時間のコアタイムを実施している。 3. 勉強会の開催が寮生の引継ぎ不足により実施されなかった。 4. 点検事項の確認を委員会で行った。	80	4						
4. 進学生課程の教育方法・学習成果	教育課程の編成	18	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成されているか。	教務主事	1. CPIに基づき教育課程を編成しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 教育課程表および教育課程系統図 2. 第8回教務委員会議事概要	1. CPIに基づいた教育課程を編成している。 工学科の教育改定の再検討は完成年度後に予定。 2. アセスメントプランにより検討を行っている。	100	5		5	4.7	
		19	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	教務主事	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実践力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解・地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-3. 教育課程表およびシラバス(科目の抜粋) 4. 第8回教務委員会議事概要	1. 適切な科目が配置されている。教授内容はシラバスに適切に記載されている。 2. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5				
	授業形態、学習指導法	20	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	教務主事	1. 教育内容に応じて学習指導上の工夫をしているか。 2. 指導上の工夫等について報告により確認をしているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-2. 授業改善報告書および授業公開アンケート(オンライン、フィールド型、情報機器活用、学力不足学生への配慮、連携、教材の工夫などの抜粋) 3. 第8回教務委員会議事概要	1. 授業アンケート等により授業改善に取り組んでいる。成績不振学生への校内学習塾による指導体制を効果的に運用している。 2. 授業改善報告書による確認を行う予定である。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	80	4				
		21	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	教務主事	1. CPIに沿って、適切なシラバスを作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-2. シラバス 授業改善報告書 3. 第8回教務委員会議事概要	1. CPIに沿った教育課程を編成し、教授内容を示すシラバスが作成されている。 2. 各講義においてシラバスが周知され、シラバスに沿った講義が行われている。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5				
		22	成績評価・単位認定及び卒業認定の各基準が学生等に周知されているか。	教務主事	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 卒業認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. シラバス 2. 教育課程表 3. 第8回教務委員会議事概要	1. 成績評価・単位認定基準はシラバスに記載され、周知されている。 2. 卒業認定基準は学生便覧に記載され、周知されている。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5				
成績評価・進級及び卒業判定	23	成績評価は適切に行われているか。	教務主事 総務主事(教育改善委員会)	1. 成績評価を適切に行っているか。 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-2. シラバス 授業改善システム(エビデンスのチェック) 3. 第8回教務委員会議事概要	1. 授業改善システム(エビデンスのチェック)を実施し、教員へのフィードバックを行った。 2. 前期エビデンスの収集を実施した。 3. UABE審裁からの指摘事項を教育改善委員会にフィードバックした。 4. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5	5				

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	改善点	小項目評価	大項目評価	外部の意見	
学習・教育の成果		24	進級判定、卒業認定が適切に行われているか。	教務主事	1. 進級判定を適切に行っているか。 2. 卒業認定を適切に行っているか。 3. 進級判定・卒業認定基準を確認しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-2. 進級・卒業判定資料 会議の開催案内 3. 第7回教務委員会会議事概要 4. 第8回教務委員会会議事概要	1. 年度末に、教員会議および執行会議において進級判定および卒業認定を行っている。 2. 第7回教務委員会において、進級判定および卒業認定基準の確認を行った。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5		4.3			
		25	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 学業成績からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 学会発表や学生表彰からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 卒業判定資料 2. 卒業研究の学会発表件数 3. 学生の表彰・受賞一覧 4. 第8回教務委員会会議事概要	1. 設定した科目の学業成績により、学習および教育の成果を確認している。 2. 学生の学会発表や表彰・受賞により学習および教育の成果を確認している。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5					
		26	卒業時の学生および卒業生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 卒業時のアンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 卒業生アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 企業アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 学習・教育目標の達成度自己評価調査表 2. 卒業生および企業に対するアンケート調査 4. 第8回教務委員会会議事概要	1. 卒業時に、学習・教育目標の自己評価を行い、成果を確認している。 2. 次年度の卒業生および企業に対するアンケートにより、成果を確認する予定である。 3. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	80	4					
		27	卒業後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 卒業後の進路に学習・教育の成果が表れているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 進路指導報告書（就職先・進学先一覧） 2. 第8回教務委員会会議事概要	1. 卒業後の進路を確認し、成果を確認している。 2. 第8回教務委員会において点検事項の確認と検討を行った。	100	5					
		28	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的並びに準学士課程との連携および発展的に編成されているか。	専攻科長	1. DPIに基づき教育課程を編成しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	教育課程表 系統図（7年分）	1. 系統図上で、専攻科単独で科目表を構成しているが、本科で基本的事項を学習し、専攻科で応用的なことが学べるように構成している。 2. 社会からの要請の変化に対応するため見直しを随時行っている。	90	4					
5. 専攻科課程の教育課程・教育方法・学習成果	教育課程の編成	29	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	専攻科長	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実践力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解・地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	教育課程表 系統図（7年分） シラバス（科目の抜粋）	1. 科目に関しては必要に応じて見直しを行っている。 2. 「機能デザインI/海外実習I/実践工学演習」を実施している。 3. 「英語特訓I-II」を実施している。 4. 随時確認を行っている。	100	5		4.5			
		30	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	専攻科長	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 修了認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	対話型、eラーニング、フィールド型、情報機器活用、学力不足学生への配慮、連携、教材の工夫など特色ある授業例（授業改善報告書書や授業公開より、抜粋）	1. 科目ごとにシラバスに掲載し、説明している。 2. 年度当初のガイダンスで説明を行っている。 3. 随時確認を行っている。	100	5		5			
		31	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成・活用され、研究指導が適切に行われているか。	専攻科長	1. DPIに沿って、シラバスを適切に作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	シラバス 研究指導計画などの実施要項 専攻科の研究発表会、学会等への参加状況	1. DPIに沿ってシラバスの作成をおこなっている。 2. 初回の講義にてシラバスの説明を行っている。 3. 随時確認を行っている。	100	5					
		32	成績評価・単位認定及び修了認定の各基準が学生等に周知されているか。	専攻科長	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 卒業認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	学生へのアンケート調査結果	1. 科目ごとにシラバスに掲載し、説明している。 2. 年度当初のガイダンスで説明を行っている。 3. 随時確認を行っている。	100	5					
		33	成績評価は適切に行われているか。	専攻科長 総務主事 (教育改善委員会)	1. 成績評価を適切に行っているか。 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	シラバス通りに成績評価が行われているかの一例 授業改善システム(エビデンスのチェック)	1. 授業改善システム(エビデンスのチェック)を実施し、教員へのフィードバックを行った。 2. 前期エビデンスの収集を実施した。 3. 点検事項の再検討を行った。	100	5		5	4.8		
34	修了認定が適切に行われているか。	専攻科長	1. 進級判定を適切に行っているか。 2. 修了認定を適切に行っているか。 3. 進級判定・修了認定基準を確認しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	修了判定資料および会議の開催	1. 専攻科運営委員会および執行会議で行われた。 2. 随時行っている。	100	5							
学習・教育の成果	専攻科長	35	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 学業成績からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 学会発表や学生表彰からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	特別研究の学会発表件数および学生の表彰・受賞一覧 学校として把握できる資料 専攻科生 修了判定資料 専攻科「産業システム工学」プログラム修了判定	1. DPIに沿った学習・教育が認められ、23名が専攻科を修了した。 2. 学会発表を通じてDPIに沿った学習・教育が認められた。 3. 随時確認した。	100	5					
		36	修了時の学生および卒業生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 修了時のアンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 修了生アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 企業アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	自己評価シート、学習・教育目標達成調査、ルーブリック形式による学習・教育目標の達成度評価確認表 学生個人用、専攻科修了生・学習教育目標達成度 など 卒業生および企業に対するアンケート調査	1. 意見交換会のアンケートにより、成果等を確認している。 2. 企業アンケートにより、成果等を確認する予定である。 3. 随時検討している	80	4		4.7			
		37	修了後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 修了時の学士の取得状況から学習・教育の成果が認められるか。 2. 修了後の進路状況から学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項を再検討しているか。	学位取得状況 過去5年間の就職先・進学先一覧	1. 修了時の学位取得状況にて確認している。 2. 修了時の進路状況にて確認している。 3. 点検事項の確認はまだ行っていない。	100	5					
6. アドミッション・ポリシーに沿った学生の受け入れ	専攻科課程の学生の受け入れ	38	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学者選抜方法が適切に実施されているか。	教務主事	1. APIに基づき入学者選抜を実施しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 入学者推薦選抜及び学力検査実施要領 2. 入学者選抜委員会議事概要	1. APIに基づき入学者選抜を実施している。 2. 点検事項の確認を行った。	100	5					
		39	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	教務主事	1. 入学者がAPIに沿っているか検証しているか。 2. 検証結果を入学者選抜の改善に役立てているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-3. 入学者選抜委員会議事概要	1. 入学者がAPIに沿っているか検証を行った。 2. 検証結果を入学者選抜の改善に向けた検討に用いている。 3. 点検事項の確認を行った。	100	5		4			
		40	受験者数増加対策は効果的に行われているか。	教務主事 総務主事(広報企画室) 男女共同参画推進室長 入試広報室	1. 受験者は増加したか。 2. 受験者数増加対策を検討しているか。 3. 受験者数増加対策を実施しているか。 4. 活動の検証をしているか。 5. 点検事項の確認・検討をしているか。	1-2. オープンキャンパス(体験入学)実施要項 本ホームページ、各種広報活動 男女共同参画推進の事業 3-4. 入学者選抜委員会議事概要	1. 学校説明会(8/30)、オープンキャンパス(7/8、10/30)を実施した。 2. 入試制度、学校改組を含めた検討を行うこととした。 3. 検証および点検事項の確認を行った。	80	4		4.2			
		41	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学者選抜方法が適切に実施されているか。	専攻科長	1. APIに基づき入学者選抜を実施しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	専攻科推薦および学力・社会人特別入学者入学者選抜要項	1. APIに従って入学者選抜を実施している。 2. 検討を行った。	100	5					
42	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	専攻科長	1. 入学者がAPIに沿っているか検証しているか。 2. 検証結果を入学者選抜の改善に役立てているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	専攻科推薦および学力選抜の検証 (入学者選抜委員会や専攻科運営委員会等資料)	1. 入学者選抜方法で適切であることを判断している。 2. 今後改善を行う。 3. 検討を行った。	80	4		4.3					

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	改善点	小項目評価	大項目評価	外部の意見
	れ	43	受験者増加対策は効果的に行われ、入学定員と受入学生数との関係の適正化が図られているか。	専攻科長	1. 受験者数増加対策を検討しているか。 2. 受験者数増加対策を実施しているか。 3. 活動の検証をしているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	4年生に対する広報活動 等 専攻科生の状況 入学志願者・入学状況(学校便覧)	1. 説明会を実施している。 2. 午後検証を行う。 3. 検討を行った。	80	4				
7. 研究活動の状況	研究体制と支援体制	44	研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	研究主事	1. 研究活動に関する基本方針が定められているか。 2. 研究推進委員会が設置されているか。 3. 研究倫理委員会が設置されているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	長野工業高等専門学校における研究活動に関する基本方針 研究推進組織図 研究支援委員会活動内容(支援体制など) 特別経費申請一覧 科研申請書の添削希望の募集	1. 研究推進委員会において研究活動および知財管理について確認した。 2. 研究倫理委員会において2件の審議を行った。 3. 研究推進委員会において点検事項の検討を実施。	100	5		5		
	研究活動の成果	45	研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	研究主事	1. 研究業績一覧を発行し、研究状況の確認を行っているか。 2. 学生による学会発表件数、学生が関与する共同研究の実施状況などを確認しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	シーズ集、特許出願件数、科学研究費応募採択状況 各学科等における研究活動 学生による学会発表件数、学生が関与する企業との共同研究件数	1. 62名の教員によるシーズ集の発行および研究業績一覧を記事に掲載。 2. 学生の学会発表や共同研究に関する情報を収集している。 3. 研究推進委員会において点検事項の検討を実施。	100	5				
	研究活動の改善	46	研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	研究主事	1. 研究推進委員会にて研究活動推進に関する事項を検討しているか。 2. 点検事項を再検討しているか。	研究支援委員会活動内容(研究活動の改善など)	1. 研究推進委員会において研究活動および知財管理の方向について確認。 2. 研究推進委員会において点検事項の検討を実施。	100	5				
8. 地域貢献活動等の状況	地域貢献活動の計画	47	地域貢献活動が適切に定められ、計画的に実施されているか。	総務主事 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 地域貢献の目的を定めているか。 2. 活動計画を定めているか。 3. 計画に沿って実施しているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	国立高専機構長野高専における地域貢献活動等に関する目的・基本方針および目標 広報企画室の活動計画 地域共同テクノセンター年間行事日程	1. 広報企画委員会、地域共同テクノセンターにおいて、本年度の活動計画を策定した。 2. 計画に沿って、各種事業・各地域の産業関係等への参加を実施し、広報・地域貢献を行った。 3. 再検討を行った。	100	5		5		
	地域貢献活動の成果	48	地域貢献活動の目的等に沿った成果が得られているか。	総務主事 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	広報企画室活動のまとめ 地域共同テクノセンター活動のまとめ	1. サイエンスライブ、サイエンスツアー、テクノセンター事業等の実施アンケートに基づき、実施の成果を確認している。 2. 実施アンケートより、目的に沿った成果を確認している。 3. アンケート項目・内容の点検を行った。	100	5				
	地域貢献活動の改善	49	地域貢献活動の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	総務主事 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	広報企画室活動のまとめ 地域共同テクノセンター活動のまとめ	1. 実施状況および課題の確認は、広報企画委員会、地域共同テクノセンターにおいて、確認している。 2. 委員会およびセンターでの確認を通して、成果があがっているかを確認している。 3. 手法の検討を行った。	100	5				
9. 財務及び管理運営と情報公開	財務関係	50	適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	事務部長	1. 効率的・効果的な収支計画(見積)を策定しているか。 2. 学内会議等で予算配分方針を周知しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	予算配分方針	1. 6月29日の執行会議にて予算配分方針が承認された。 2. 7月6日の運営会議で報告を行った。 3. グループウェアへ資料の掲載を行っている。	100	5				
		51	適切に予算が配分され、その執行状況の確認が行われているか。	事務部長	1. 予算配分方針に基づき、適切な予算配分をしているか。 2. 定期的に、予算執行状況を確認しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	予算配分 予算執行集計表、予算差異簿	1. 6月29日の執行会議にて予算配分方針が承認された。 2. 7月6日の運営会議で報告を行った。 3. 定期的に執行状況を確認し、執行率が低い場合は執行予定等の聞き取りを行い、早期執行を促した。	100	5		5		
		52	適切に予算が執行され、その結果が公表されているか。	事務部長	1. 定期的に予算執行状況を把握しているか。 2. 決算状況について、HP等で公表しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	学校要覧：財務状況 ・収入・決算額 ・外部資金受入状況 ・科学研究費交付決定状況 HP：財務状況	1. 定期的に予算執行状況の把握を行っている。 2. 収入・決算額の状況については、7月にホームページへ前年度の財務状況として(令和4年度)の公表を行った。	100	5				
		53	各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	事務部長	1. 時宜に応じた事務組織等の見直しを行っているか。 2. 事務組織等の人員配置などについて定期的に点検・確認しているか。 3. 教育改善委員会で各種委員会の活動状況の点検を行っているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	内部組織規則、各委員会規則 事務組織及び事務分掌規則 各種委員会の活動状況の点検結果(教育改善報告書)	1. 年度末に次年度の事務組織等の人員配置を検討しており、必要に応じて人員配置の見直しを行っている。 2. 事務組織の人員配置の検討材料の一つとして、半期ごとの業績評価時における職員面談を通じて、現在の業務状況なども確認している。 3. 年度末に教育改善委員会で各種委員会・センター等が適切に活動しているか点検を行っている。(令和5年5月「令和4年度教育改善報告書」)	100	5				
		54	情報セキュリティを含む危機管理等の安全管理体制が整備され、規則に沿った運用がなされているか。	総務主事 事務部長	1. 安全管理規則が定められているか。 2. 規則に沿って研修が行われているか。 3. 規則に沿った安全管理対応が行われているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	リスク管理規則、情報セキュリティ管理・推進規則 防災マニュアル、情報セキュリティ利用規則、教職員規則	1. 各種関連規則は整備済み。(R4の情報セキュリティ監査で確認済み。) 2. R5.1に防災マニュアルを更新済み。 3. R5.6に防災訓練全体、R5.11に防災訓練を実施済み。 4. R5.7情報セキュリティe-Learningを実施済み。 5. 令和5年度情報セキュリティインシデント対応訓練(9/4、11/6実施)に伴い情報セキュリティ管理委員会を設置した。 6. 毎月情報セキュリティ推進委員会を開催(4/25、5/29、6/26、7/24、8/30、10/26、11/29、1/9、2/5、3/6)し、情報セキュリティの管理を行っている。 7. 点検事項の検討を行った。	100	5				
		55	外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	研究主事	1. 外部資金の公募案内を校内に周知しているか。 2. 科学研究費申請書の添削支援を実施しているか。 3. 特許出願に関する支援を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	研究支援委員会活動内容(支援体制など) 特別経費申請一覧 科研申請書の添削希望の募集	1. 外部資金の公募案内は都度校内に周知。 2. 科学研究費申請書の添削に8名が教員が参加。 3. 6名の教員が理士の推薦による特許関連事業に参加。 4. 研究推進委員会において点検事項の検討を実施。	100	5			5	
		56	外部の教育資源を積極的に活用しているか。	教務主事 専攻科長 研究主事	1. 外部の教育資源を積極的に活用しているか。 2. 点検・評価手法を再検討しているか。	1. 実務訓練、学外実習、企業書生およびその実施状況資料 産学連携関係の共同研究や共同教育の実施例の資料 企業現場見学実施状況資料 1-2. 第8回教務委員会議事概要	1. 実務訓練およびその報告会を例年の形式に戻して実施し、多くの企業等の協力のもと実施ができた。実務訓練のさらなる充実に向けて、また他の研修や見学等の行事でも協力が得られるよう、受け入れ企業募集や説明会の時期の変更を検討した。 2. 点検事項の確認と検討を行った。	100	5				

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	改善点	小項目評価	大項目評価	外部の意見
		57	管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組が組織的に行われているか。	事務部長	1. 定期的にSD研修会などを実施しているか。 2. その他、職員の資質向上を図る取組を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	SD研修会の実施、 管理運営等の研修会への参加リスト	1. 9/8にタイムマネジメント研修を実施。合計49名受講(本校29名、他高专15名、信州大学5名) 2. 事務部有志にて、業務効率化の勉強会を実施中(6/29、7/5、7/13、8/31、9/21実施済み) 3. 長野高专メンタルヘルス(セルフケア)研修を11/14に実施 4. 長野高专職員海外派遣研修(11/7-10)に2名派遣 5. 高专機構主催の新任校長・新任事務部長研修会(4/26)1名、新任職員研修会(5/29、31)に2名参加 6. 高专機構主催の中等教員研修会(10/16、17)に2名参加 7. 信州大学主催の財務会計実務研修(9/14、15)に2名参加 8. 関東信越地区高专技術職員研修会(9/11-13)に1名参加 9. 高专機構主催の施設担当者研修会(10/12、13)に1名参加 10. 関東・甲信越地区国立大学法人専修長研修(10/12、13)に1名参加 11. 関東・甲信越地区国立大学法人専修長事務研修(11/22)に1名参加 12. 関東・甲信越地区実践セミナー(財務の部)(10/19)に1名参加 13. 関東・甲信越地区実践セミナー(広報の部)(11/1)に1名参加 14. 長野高专ジョブ・クラフティング研修(12/11)に14名参加 15. 東京地区及び関東・甲信越地区実践セミナー(産学連携の部)(1/22)に1名参加	100	5				
	情報公開	58	教育情報(学校教育法施行規則の事項を含む)が公表されているか。また、タイムリーな情報発信が行われているか。	総務主事 事務部長	1. 文部科学省令第15号に沿って情報公開が行われているか。 2. 公開状況の点検・整備が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	長野高专ホームページ 教育情報	1. 平成30年度の機関別認証評価において、公表内容を審査されている。その後、随時内容を改善している。 2. 公開情報の見直しが行われ、データ更新を行っている。 3. OMSが古いので、年度末のシステム更新を計画し、準備を進めている。 4. 点検の再検討を行った。	100	5		5		

達成率
点検事項
の実施実
績に基づ
いて達成
率を算定
する

自己評価

- 1 達成率 0～20%
- 2 達成率 21～40%
- 3 達成率 41～60%
- 4 達成率 61～80%
- 5 達成率 81～100%

令和6年度 自己点検・評価表

承認日: 令和7年3月27日

大項目	小項目	番号	点検項目	担当	点検事項	根拠資料	現状	達成率		文書		確認		R5年度 外部の意見
								達成率%	自己評価	教育改善委員会からの発言	教育改善委員会の小項目評価	教育改善委員会の小項目評価	教育改善委員会の小項目評価	
1. 教育の内部質保証	自己点検評価	1	自己点検・評価を実施するための方針、体制が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されており、改善を測る指標になっているか。また、自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	総務主事 (教育改善委員長)	1. 自己点検・評価の事項は改善を測る指標になっているか。 2. 点検・評価の基準を定めているか。 3. 点検・評価を四半期ごとに実施しているか。 4. 四半期ごとに点検・評価手法を再検討しているか。	学校ホームページ・評価 R6年度第2回運営会議議事概要: 報告事項6 第1期自己点検依頼メール(5/30校内メール) 第9回執行会議議事概要 第6回執行会議議事概要 第9回執行会議議事概要 第9回執行会議議事概要 第9回執行会議議事概要 第12回執行会議議事概要	R5年度自己点検評価表はホームページに公開 R6年度自己点検評価項目を運営会議にて確認 第1期自己点検依頼メール(5/30校内メール) 第2期9/26 第9回執行会議にて自己点検状況を確認 第3期12/26 第9回執行会議にて自己点検状況を確認 第9回執行会議メールで第9回自己点検状況を承認 第12回執行会議にて教育改善委員会からの提言を承認	100	5	十分対応している。	5			前年の実績に対して、今年この評価の項目が、どうアップしているかとか、ダウンしているかとか、何ができていないか、何がまだできていないか、この辺がもう少し分かりやすくなるかと思っています。 それと、評価制度に対するスタンスです。項目のこだわりといったものは実行はしない、実行したことによって学生の支援にどのような効果が出ているのかとか、どのような効果があったのかとか、学生からどのような反応があったのかという評価の進捗といいますが、このようにこれを会議に置いてやられることが大事かと思っています。
		2	学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が、教育の質の改善・向上に繋がっているか。	総務主事	1. 学校構成員の意見聴取の規則を定めているか。 2. 意見聴取の手続きが定められているか。 3. 実施の効果が確認できているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	長野工業高等専門学校校長面談実施に係る取扱いについて 参与会設置要項 R5年度校長面談日程調整依頼メール(5/1校内メール) 事務部面談等実施	校長による教員面談実施(5/13-6/4) 第21回参与会実施(1/29) 改善につながっているかの評価手続きが不明瞭	85	5	十分対応している。	5			
	3	3つのポリシー	3つのポリシー	1. DPを定めているか。 2. CPを定めているか。 3. APを定めているか。 4. 3ポリシーの見直しについて検討しているか。	教務主事 専攻科長	学校ホームページ R6第2回教務委員会議事概要 第9回執行会議議事概要 第9回執行会議議事概要	3ポリシーについて、見直しの必要性を含めて確認し、文書等の修正案を執行会議で確認した。 第9回執行会議において3ポリシーの修正を実施した。 本科CPにてさらに見直しの必要があり、教務委員会において検討のうえ、CPの修正を含む3ポリシーの見直しを行った(第9回執行会議承認)。	100	5	十分対応している。	5			
2. 組織及び教員・教育支援者	学校組織	4	教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか。	事務部長	1. 定期的に各種委員会が開催されているか。 2. 運営体制が機能しているか適時点検・確認しているか。	1. 組織図 2. 内規組織規程 3. 職務分掌一覧 4. 執行会議・運営会議資料 5. 令和6年度教育改善報告書	1. 前年度末の執行会議・運営会議において、次年度の学校運営体制の見直しを行った。 2. 毎月の執行会議・運営会議で各種会議・委員会からの報告がなされ、運営体制が機能していることを確認している。また、年度途中であっても、執行会議において必要がわれば運営体制を見直しを行う体制としている。 3. 教育改善委員会において、各種委員会の活動状況の点検を年間通じて行っており、必要に応じて次年度への改善点等の提言を行っている。	100	5	十分対応している。	5			
		5	教員等の配置	教務主事 専攻科長 事務部長	1. 一般科目担当教員を適切に配置しているか。 2. 専門科目担当教員を適切に配置しているか。 3. 教育支援者を適切に配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	授業時間割(編成資料) R6第2回教務委員会議事概要	各教員の専門とする領域を考慮して一般科目および専門科目の担当者として配置している。 実務・実習科目を中心に授業支援者として技術職員を配置している。 点検項目は教務委員会が確認している。	100	5	十分対応している。	5			
	6	教員の評価	校長 教務主事 専攻科長	1. 教員の採用や昇任に関する基準があるか。 2. 採用・昇任の基準を適切に運用しているか。 3. 教員の教育研究活動を定期的に評価しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	長野工業高等専門学校教員昇任の取扱い R6第2回教務委員会議事概要 長野工業高等専門学校教員の教育研究活動の評価に関する要項	昇任の基準が定められている。 長野工業高等専門学校教員の教育研究活動の評価に関する要項(7/1)が制定した。 点検項目は教務委員会が確認している。	100	5	十分対応している。	5				
FD活動	7	FD-SD活動が実施され、教育活動の改善等に結びついているか。	総務主事 (教育改善委員長)	1. FD研修会を3回実施しているか。 2. 実務FD研修会の効果を検討しているか。 3. SD研修会を3回実施しているか。 4. 実務SD研修会の効果を検討しているか。 5. 点検事項を再検討しているか。	学校ホームページ・情報公開 第6回教育改善委員会議事概要	R5年度教育改善報告書の結果から状況把握 FD研修会を9月30日、11/12、1/29に実施した。 第6回教育改善委員会にてFD研修会の効果を確認した。(予定) 本年度は後2回FD研修会を予定している。	85	5	十分対応している。 3月に2回のFDは集中しすぎである。	5				
	8	学校の施設・設備が整備され、適切な安全管理の下に有効に活用されているか。	事務部長	1. 定期的に施設の管理状況を点検し、良好な状態で維持保全しているか。 2. 安全衛生委員会による月1回の職場巡視を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. 安全衛生委員会議事要旨 2. キャンパスマネジメント委員会議事概要 3. 施設の管理状況: 点検・検査記録等	1. 安全衛生委員会メンバーが毎月職場巡視(4/19,5/16, 6/17, 7/18, 8/26, 9/17, 10/16, 11/14, 12/17, 1/27, 2/14, 3/7)を行い、職場の安全衛生を点検・確認し、両委員会が必要に応じて改善を図っている。 2. 施設の維持管理については、施設管理者による日常的な点検に加え、契約による定期点検や法定点検等を実施している。 3. 資財の有効活用促進のために、前年、授業等の稼働状況の把握を目的とした施設利用状況調査を6月に行った。12月には6月の調査で稼働率が低かった施設について再調査を行った。調査結果は情報共有し、稼働率が低い居室等に引違い窓の開口制限を実施した。屋外非常階段進入防止扉を設置した。	100	5	十分対応している。	5				
学習環境	9	学生へのニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	教務主事 (情報教育センター長) 総務主事 (教育改善委員長)	1. 学生のニーズ調査を実施しているか。 2. セキュリティ研修を実施しているか。 3. ICT環境の保守・点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	学校ホームページ・情報公開	1. 学生ニーズをR5年度教育改善報告書の結果から状況把握 2. 非常動議を含む全教職員に対してセキュリティ研修実施した。 3. ICT環境の保守・点検を定期的に変更している。 4. 点検事項を定期的に実施している。	100	5	十分対応している。	5				
		10	図書・学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集・整理されており、有効に活用できようよう取り組みが行われているか。	総務主事 (図書館長)	1. 教職員・学生のニーズ調査を実施しているか。 2. 蔵書の点検を実施しているか。 3. 図書の活用状況の点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	学校ホームページ・情報公開 図書希望調査メール(6/9) 1. 教職員「学生用図書」の推薦について(4/12教職員へのオールメール)、図書希望調査メール「リクエスト図書推薦中」(6/9)学生へのオールメール)、教職員「開館・図書室の推薦図書について」(6/2教職員へのオールメール)。 2. 図書システム管理データ。 3. 4. 5. 6. 7月の図書資料等貸出月計表(8月は作成中)。 4. 図書館会議議事録。	学生ニーズをR5年度教育改善報告書の結果から状況把握。 1. 教職員・学生への図書希望調査ともに実施中。 増設・初期の利用調査実施済み(10月~11月)。 2. 月報「開館」。 3. 視覚資料を、館長・係長・係員で回覧し、活用の現状を把握している。 4. 検討済み。	100	5	十分対応している。	5			
	11	新入生、留学生、編入生に対して、履修や施設・設備等に関するガイダンスを実施しているか。	教務主事 専攻科長	1. 新入生ガイダンスを実施しているか。 2. 留学生ガイダンスを実施しているか。 3. 編入生ガイダンスを実施しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	新入生の年度当初の日程 入学式資料 R6第2回教務委員会議事概要	新入生については入学式当日および翌日に実施 留学生、編入生については入学式当日にガイダンスを実施 点検項目は教務委員会が確認している	100	5	十分対応している。	5				
12	学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	教務主事 専攻科長 学生相談室長 総務主事(教育改善委員長)	1. 学生の学習活動に照して相談できる体制を整えているか。 2. 相談・助言を行う体制が機能しているか。 3. 相談対応など、状況確認がなされているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	学校ホームページ・情報公開 R6第2回教務委員会議事概要 第4回運営会議議事概要	R5年度教育改善報告書の結果から状況把握 目的調査会議において進路支援者、学生相談室からの状況報告が行われている。 点検項目は教務委員会が確認している	100	5	十分対応している。	5					

3. 学習環境及び学生支援	13	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等が行われているか。	教務主事 専攻科長 国際交流センター長 学生相談室長	1. 特別な支援が必要となる新入生の情報を共有しているか。 2. 特別な支援が必要となる留学生の情報を共有しているか。 3. 必要な支援や配慮事項を検討しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	保健調査票(入学時提出資料) R6第2回教務委員会議事概要	新入生について配慮が必要な情報は関係教職員間で共有している。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。	5	この学習環境と学生支援の分野では、毎年、異なる手法やアプローチを取りながらも学生のニーズ調査やアンケートなどの項目が十分に実施されていないことがあるように思われます。こうした学習環境や学生支援は、受け身の学生側からどのように評価されているかを把握することも重要かと思ます。良い面もありますが、学生側からの視点を取り入れることで、例えばガイダンスの実施状況だけでなく、その内容の理解や有益性に関する評価にもつなげることができると思います。
	14	学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が機能しているか。	学生主事 専攻科長 学生相談室長	1. 学生の生活や経済面に係る相談・助言等を行う体制が機能しているか。 2. 学生や保護者に対して各種奨学金制度について周知する体制を整えているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	学級担任業務ガイド(第5版) 学生便宜(令和6年度版) 相談室からのメッセージ(2024年度版) 長野県県庁における個別支援 学生相談室報告 第3回学生支援委員会報告(授業料免除利用状況、奨学金実施) 第1回学校心め対策委員会報告(授業料免除利用状況、奨学金実施) 学校ホームページ「経済的支援」 https://www.naganomct.ac.jp/life/support	1. 本科生に対しては学級担任が、専攻科生に対しては専攻長が主に相談・助言等を行っている。また、メンタル面など専門性の高い相談事項については学生相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して支援を行っている。いじめ対策については、学生相談室が定期的に状況を把握するとともに、学校心め対策委員会を定期的に開催して情報を共有して、チームで対応している。なお、令和5年度末に合理的配慮による学生への個別支援について手帳および相談料を整理して、令和6年度から実施している。 2. 学生や保護者に対して学生課学生生活よりメールやホームページで各種奨学金の案内を行っている。また、ホームページに掲載している旨を後援会の支部(県、市、市、市、市、市、市、市、市、市)で説明している。 3. 継続して検討する。	100	5	十分対応していると思われるが、評価を下げた点がわからない。		
	15	進路指導およびキャリア教育の体制が機能しているか。	教務主事 学生主事 (進路支援室長) 専攻科長	1. キャリア教育に関する各種セミナーを実施しているか。 2. 進路に関する相談・助言等を行う体制が機能しているか。 3. インターネット上の適切な行われているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	第3回進路支援会議資料No.4(令和6年度進路支援の活動報告(案)) 進路支援室Letter(2025年12月版) 第3回進路支援会議資料No.2(キャリアコーディネーター進路(進学・就職)相談実績) 実務訓練企業説明会実施要項 R6第2回教務委員会議事概要 R6第7回教務委員会議事概要	1. 進路セミナー、卒業生講演会等を実施した。 2. 学生主事、専攻科長、専攻長、部長、学級担任、就職担当教員、キャリアコーディネーターで構成する進路支援室が進路に関する相談・助言を行っている。 3. 村社の実務訓練は教務委員会と学生会が中心となり、専攻科生の学外実習は専攻科実務訓練委員会が中心となって実施している。4年生のインターンシップ事業を効果的に進めるため実施時期を変更して6/30に企業説明会を開催し、10/30に報告会を開催した。 4. 継続して検討する。	100	5	十分対応していると思われるが、評価を下げた点がわからない。		
	16	課外活動に対する支援体制が、適切に機能しているか。	学生主事	1. 課外活動の指導教員を配置して、課外活動を支援しているか。 2. 教員または課外活動指導員用の指導マニュアルに従い、課外活動が安全に実施できているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	部・同好会指導教員一覧(2024年度版) 部・同好会活動の指部に関するガイドライン(2024年度版) 長野県専科外活動指導員マニュアル(2024年度版) 学生の病気、ケガに対する対応報告書	1. 部・同好会に指導教員を配置して、課外活動を支援している。また、平日の放課後と休日の午前中に課外活動指導員を配置して、教員の業務負担軽減を図っている。 2. 教員用部・同好会活動の指導に関するガイドライン、課外活動指導員用1長野県専科外活動指導員マニュアルにない、引渡時や練習場でのケガや体調不良となった学生が出た場合に医療機関を発着させるなど対応できている。 3. 継続して検討する。	100	5	十分対応していると思われるが、評価を下げた点がわからない。		
	17	学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	寮務主事	1. 満足した生活の場を提供しているか。 2. 勉学の場を提供しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	寮食堂食費申請書・寮生活調査アンケート 寮生teamの作成と運用状況 学習のタイム、学習者比率 寮生会実施、危険な参加者数 R6第2回教務委員会議事概要	1.年1回の寮生活調査アンケート(12月)と、寮食堂における提案調査・満足度調査を実施した。寮生teamを作成し、学生への連絡を迅速化し、確認精度を上げた。 2.学習コアタイムにおける4月・6月、9月・11月の進捗結果から学習者の比率を把握した。寮生会協議会で寮生会へ実施検討を依頼し、コロナ禍において中断していた寮生会主催の寮生勉強会が復活した。 3.第3回寮生委員会を発着させた。	100	5	十分対応している。		
4. 准学士課程の教育課程、教育方法・学習成果	18	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に構成されているか。	教務主事	1. OPIに基づき教育課程を構成しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	教育課程表 R6第2回教務委員会議事概要	カリキュラムポリシーに従い、一般科目及び専門科目を配置した教育課程を構成している。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		
	19	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化理解・地域文化理解のための科目が配置されているか。	教務主事	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実践力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解、地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	学校ホームページ「工学科概要 教育課程表」 R6第2回教務委員会議事概要	学科改編による新設科目を含め、一般科目および専門科目を適切に配置している。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		
	20	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	教務主事	1. 教育内容に応じて学習指導上の工夫をしているか。 2. 指導上の工夫等について報告により確認をしているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	R6第2回教務委員会議事概要 R6第11回教務委員会議事概要	指導上の工夫についての確認を今後行う予定。 点検項目は教務委員会確認している。	80	4	十分対応している。		
	21	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	教務主事	1. OPIに沿って、適切なシラバスを作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス R6第2回教務委員会	Webシラバスを作成し、周知している。 シラバスの活用についてはアンケートで確認予定である。 点検項目は教務委員会確認している。	80	4	十分対応している。アンケートの結果が得た。		
	22	成績評価・単位認定及び卒業認定の各基準が学生等に周知されているか。	教務主事	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 卒業認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 学生便宜 R6第2回教務委員会	成績評価・単位認定の基準に関する情報はシラバスに記載し周知している。 単位数および卒業要件については学生便宜で周知している。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		
成績評価・進級及び卒業判定	23	成績評価は適切に行われているか。	教務主事 秘書主事(教育改善委員会)	1. 成績評価を適切に行っているか。 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 成績評価履歴 R6第2回教務委員会	シラバスおよび成績評価履歴により成績評価が適切に行われていることを確認している。	100	5	十分対応している。		
	24	進級判定、卒業認定が適切に行われているか。	教務主事	1. 進級判定を適切に行っているか。 2. 卒業認定を適切に行っているか。 3. 進級判定、卒業認定基準を確認しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 卒業・進級判定資料 R6第2回教務委員会	教務委員会において進級および卒業認定の基準を確認し、卒業・進級判定会議において、学生全員の卒業・進級判定を行った。	100	5	十分対応している。		
	25	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 学業成績からDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 学会発表や学生表彰からDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	卒業・進級判定資料 学生表彰一覧 R6第2回教務委員会	学習・教育到達目標を達成するために設定された科目の単位取得により、学習・教育の成果が認められた(R5)。 学会発表や課外活動、コンテスト等で活躍した学生の状況から、学習・教育の成果が認められた(R5)。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		
学習・教育の成果	26	卒業時の学生および卒業生・進級志願者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 卒業時のアンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 卒業生アンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 企業アンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	15 学習到達目標評価の調査結果 第2回卒業生アンケート	卒業時の学習到達度自己評価の調査結果から、学習・教育の成果が認められた(R5)。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		

5. 専攻科課程の教育課程、教育方法、学習成果	教育課程の編成	27	卒業後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	教務主事	1. 卒業後の進路に学習・教育の成果が表れているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	進路状況に関する資料(就職・進学) 第2回教務委員会	卒業後の進路状況から学習・教育の成果が認められた(R5)。 点検項目は教務委員会確認している。	100	5	十分対応している。		
		28	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的並びに専攻士課程との連携および発展的に編成されているか。	専攻科長	1. OPに基づき教育課程を編成しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.専攻科科目連携表 2.第2回専攻科運営委員会議事録		100	5	十分対応している。		
		29	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実務力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	専攻科長	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実務力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解、地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.2.3.Webシラバス参照 4.第2回専攻科運営委員会議事録	1.2.3.OP教育到達目標の関係を明確化し、科目の配置を検討した。 4.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		5
		30	教育内容に応じた、適切な学習指導上の工夫がなされているか。	専攻科長	1. 教育内容に応じた学習指導上の工夫を求めているか。 2. 指導上の工夫等について報告により確認をしているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.Webシラバス参照 2.授業評価アンケート 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.Webシラバスを確認した。 2.専攻科授業評価アンケート項目として設定している。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		5
	授業形態、学習指導法	31	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成・活用され、研究指導が適切に行われているか。	専攻科長	1. OPに沿って、シラバスを適切に作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.Webシラバス参照 2.シラバスを活用しているか。 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.Webシラバスを確認した。 2.Webシラバスを確認した。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		
		32	成績評価・単位認定及び修了認定の各基準が学生等に周知されているか。	専攻科長	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 卒業認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.Webシラバス参照 2.成績評定会議資料 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.Webシラバスを確認した。 2.専攻科ガイダンスで周知している。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		
		33	成績評価は適切に行われているか。	専攻科長 秘書主事 →教育改善委員会	1. 成績評価を適切に行っているか。 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.2.Webシラバス参照 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.シラバスおよび成績評価履歴により成績評価が適切に行われていることを確認している。 2.Webシラバスを確認した。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		5
		34	修了認定が適切に行われているか。	専攻科長	1. 進級料金を適切に行っているか。 2. 修了認定を適切に行っているか。 3. 進級料金を修了認定基準を確認しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.削除 2.修了判定会議 3.修了判定会議 4.第2回専攻科運営委員会議事録	1.進級料金は行っておらず、単位認定のみである。 2.修了判定会議で実施予定である。 3.修了判定会議で実施予定である。 4.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		
	学習・教育の成果	35	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 学業成績からDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 学業発表や学生表彰からDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. グローバル化への対応成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 所定の単位を収めることで確認 2. 削除 3. 特別研究IIの英語の要項および発表 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.OPにより設置された科目群の単位を取得することで確認する。 2.学業発表や学生表彰は任意の活動であり、指標とはならない。 3.英語の要項作成および英語での発表を取り入れる。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		
		36	修了時の学生および卒業生・進路関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 修了時のアンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 2. 修了生アンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 卒業生アンケートからDPに沿った学習・教育の成果が認められるか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1.専攻科修了時のアンケート調査 2.専攻科修了生へのアンケート調査 3.卒業生アンケート調査 4.第2回専攻科運営委員会議事録	1.専攻科修了時に2種類のアンケート調査を実施する予定である。 2.3.アンケートを実施しなければならない。 4.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		5
37		修了後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	専攻科長	1. 修了時の学士の取得状況から学習・教育の成果が認められるか。 2. 修了後の進路状況から学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1.修了時の学位の取得状況 2.修了時の進路状況 3.第2回専攻科運営委員会議事録	1.学位の取得状況の確認を行う。 2.修了時の進路状況を確認する。 3.継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。			
6. アドミッション・ポリシーに沿った学生の受け入れ	38	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が適切に実施されているか。	教務主事	1. APIに基づき入学選抜を実施しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	入学者募集要項 入学者選抜実施要項(推薦選抜・学力選抜)	募集要項にAPを記載し、出願資格に「科学技術に関する興味があること」を明記している。 推薦選抜では「内申点の傾斜配点」およびAPを確認した面接点の点数化を行い実施している。 学力選抜では数学・理科・英語に傾斜配点を行い実施している。	100	5	点検事項の再確認を行っている。			
	39	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学選抜の改善に役立てているか。	教務主事	1. 入学者がAPIに沿っているか検証しているか。 2. 検証結果を入学選抜の改善に役立てているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	入学者選抜希望調査結果	新入生の主専攻選択願書においてアンケートを実施し、APIに沿った学生が入学しているかを確認している。また、希望する専攻の選択およびその際について学びたい内容に関するコメントにより、工学に関心がある学生が入学していることを確認している。	100	5	点検事項の再確認を行っている。		4	
	40	受検者数増加対策は効果的に行われ、入学定員と入学定員との関係の適正化が図られているか。	入試広報室 教務主事 教務主事(広報企画室) 男女共同参画推進室長	1. 受検者数は増加したか。 2. 受検者数増加対策を検討しているか。 3. 受検者数増加対策を実施しているか。 4. 活動の検証をしているか。 5. 点検事項の確認・検討をしているか。	入学者選抜委員会議事録 入試広報室会議事項	1. 受検者数は微減となった。 2. 対策として、次項に記載の対策などを検討した。 3. 受検者数増加対策を実施している。新報に広報ポスターの改善、学校説明会4か所開催、関連イベント参加2件を実施した。 4. R7年度入学選抜後、入試広報室会議を開催して活動の検証を行い、入学選抜方法改善の提案を含む、効果的対策を再検討した。 5. 点検事項の確認・検討を行った。	80	4	入試広報がかなり下がっていることから対策を緊急検討していただいた。		5	
	41	アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学選抜方法が適切に実施されているか。	専攻科長	1. APIに基づき入学選抜を実施しているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 専攻科入学選抜要項 2. 委員会資料	1. 入試の面接でAPIについて質問している。 2. APIに従い、傾斜配点を導入できないかを検討している	100	5	十分対応している。			
専攻科課程の学生の受け入れ	42	入学者が、アドミッション・ポリシーに沿っているか検証し、その結果を入学選抜の改善に役立てているか。	専攻科長	1. 入学者がAPIに沿っているか検証しているか。 2. 検証結果を入学選抜の改善に役立てているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 専攻科入学時のアンケート調査 2. アンケート結果を入学選抜の改善に役立てているか。 3. 第2回専攻科運営委員会議事録	1. 専攻科程度アンケート 2. アンケート結果を入学選抜委員会報告した。 3. 継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。		5	
	43	受検者数増加対策は効果的に行われ、入学定員と入学定員との関係の適正化が図られているか。	専攻科長	1. 受検者数増加対策を検討しているか。 2. 受検者数増加対策を実施しているか。 3. 活動の検証をしているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	1. 専攻科運営委員会議事録 2. 本科4年生の説明会資料 3. 専攻科運営委員会議事録 4. 第2回専攻科運営委員会議事録	1. 本科4年生への説明会の他、各種学校行事で広報する。 2. 進路支援室からの要請による本科4年生への説明会実施予定。 3. 活動の結果を委員会報告し、その効果を検証する。 4. 継続審議事項として、委員会で話し合っている。	100	5	十分対応している。			
	44	研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	研究主事	1. 研究活動に関する基本方針が定められているか。 2. 研究推進委員会が設置されているか。 3. 研究倫理委員会が設置されているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	1.研究推進委員会議事録 2.研究推進委員会議事録 3.研究倫理委員会及び委員会議事録 4.研究倫理委員会議事録	・研究推進委員会にて検討すると同時に、第2ブロック研究推進会議や研究推進担当責任者会議などの内容の展開を検討中。 ・2/21/10.8/21に研究倫理委員会を開催し、合計4件の研究について研究倫理の審査を行った。	75	4	点検事項の再確認を行っている。		4	

7. 研究活動の状況	研究活動の成果	45	研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	研究主事	1. 研究業績一覧を発行し、研究状況の確認を行っているか。 2. 学生による学会発表や学生、学生が関与する共同研究の実施状況などを確認しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	教育研究報告(旧紀要)、シーズ集の発行 学生がかわる共同研究申請書 研究推進委員会議事録	投稿案件の募集中 学生の間わる共同研究申請は、都度対応。 本年度も開始した研究プロジェクトの進捗状況を確認している オープンラボ2社に続く企業のアプローチを定期的に行っている	75	4	点検事項の再確認を行っているか。 4	4
	研究活動の改善	46	研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	研究主事	1. 研究推進員等に研究活動推進に関する事項を検討しているか。 2. 点検事項を再検討しているか。	研究推進委員会議事録	研究プロジェクトの申請や、科研費申請、研究力の強化プログラムの対象者を研究推進委員会検討する際に協議を行っており、現在も進行中で協議している 研究プロジェクトの進捗確認をおこない、来年度につなげる準備を行っている 報告書の提出を3月予定	75	4	点検事項の再確認を行っているか。 4	4
8. 地域貢献活動等の状況	地域貢献活動の計画	47	地域貢献活動が適切に定められ、計画的に実施されているか。	総務主事 (広報企画室長) 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 地域貢献の目的を定めているか。 2. 活動計画を定めているか。 3. 計画に沿って実施しているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	・産業界への協力 ・第1回広報企画室会議議事概要 ・社会人向け講習会・研究会・交流会の計画書・案内メール ・テクノセンター運営会議議事録	1. 学校広報の目的、活動方針を確認している 2. 講習会、研究会、交流会の計画にそって、月1回のテクノセンター運営会議で確認を行い推進 3. テクノセンター運営会議にて、今年度の取り組みの状況の振り返りをおこなう 審議をし、職員員に記入した日報を行うこととした 4. 年度計画に沿って産業界等での広報活動を行った。	100	5	点検事項の再確認を行っているか。 5	4
	地域貢献活動の成果	48	地域貢献活動の目的等に沿った成果が得られているか。	総務主事 (広報企画室長) 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	テクノセンター年報 技術振興委員の理事会及び総会議事書	社会人向けの講習会、研究会、交流会など開催後のアンケートによる分析をおこない、次回への改善につなげている テクノセンター運営会議で、進め方を確認しながら計画を進めている プロジェクト系団体の発表会に技術振興委員会にも参加頂けるようにして、地域との連携強化につなげている。 成果の確認手段が不明確	85	5	点検事項の再確認を行っているか。 5	4
	地域貢献活動の改善	49	地域貢献活動の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	総務主事 (広報企画室長) 研究主事 (地域共同テクノセンター長)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	第1回広報企画室会議議事概要 テクノセンター運営会議議事録 技術振興委員の理事会及び総会議事書	昨年度の活動を確認し、本年度の活動を計画 開催後の参加者アンケートを分析し、次回への改善につなげる FD研修会にて、地域連携について発表をおこないました。今までの経過と、今後に向けた要望を共有していただく呼びかけを行った。 成果の確認手段が不明確	85	5	点検事項の再確認を行っているか。 5	4
9. 財務及び管理運営等と情報公開	財務関係	50	適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	事務部長	1. 効率的・効果的な収支計画(見積)を策定しているか。 2. 学内会議等で予算配分方針を周知しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. 予算配分方針 2. 予算配分	1. 6月21日の執行会議にて予算配分方針案等が承認された。 2. 7月4日の運営会議で予算配分方針・予算配分を報告を行った。 3. グループウェアへ資料の掲載を行った。 4. 点検事項の検討を行った。	100	5	十分対応している。 5	5
		51	適切に予算が配分され、その執行状況の確認が行われているか。	事務部長	1. 予算配分方針に基づき、適切な予算配分をしているか。 2. 定期的に、予算執行状況を確認しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. 予算配分方針 2. 予算配分 3. 予算執行集計表 4. 予算差引簿	1. 6月21日の執行会議にて予算配分方針・予算配分承認された。 2. 定期的に執行状況を確認し、執行率が低い場合は執行予定等を再確認し、早期執行を促した。 3. 点検事項の検討を行った。	100	5	十分対応している。 5	5
		52	適切に予算が執行され、その結果が公表されているか。	事務部長	1. 定期的に予算執行状況を把握しているか。 2. 決算状況について、HP等で公表しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. H.P・学校要覧(財務状況) ・収入・決算簿 ・外部資金受入状況 ・科学研究費交付決定状況	1. 定期的に予算執行状況の把握を行った。 2. 7月にホームページへ前年度の財務状況を公表を行った。 3. 点検事項の検討を行った。	100	5	十分対応している。 5	5
	53	各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	事務部長	1. 時宜に応じた事務組織等の見直しを行っているか。 2. 事務組織等の人員配置などについて定期的に点検・確認しているか。 3. 教育改善委員会等各種委員会の活動状況の点検を行っているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	1. 内部組織規則、各委員会規則 2. 事務組織及び事務分掌規則 3. 各種委員会の活動状況の点検結果(教育改善報告書)	1. 第2回中期より次年度の事務組織等の人員配置を検討し、必要に応じて人員配置の見直しを行っている。 2. 事務組織の人員配置の検討材料の一つとして、半期ごとの業務評価時点における職員面談を通じて、現在の業務状況なども確認する予定 3. 教育改善委員会等各種委員会・センター等が適切に活動しているか点検を行った。点検結果は令和7年3月「令和6年度教育改善報告書」で報告 4. 担当において四半期ごとに点検事項を再検討し、変更が必要な場合は、四半期ごとの執行会議において自己点検評価書の承認を受ける。	75	4	十分対応している。 4	5	
	54	情報セキュリティを含む危機管理等の安全管理体制が整備され、規則に沿った運用がなされているか。	総務主事 事務部長	1. 安全管理規則が定められているか。 2. 規則に沿って研修が行われているか。 3. 規則に沿った安全管理対応が行われているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	1. リスク管理規則 2. 情報セキュリティ管理・推進規則 3. 防災マニュアル 3. 情報セキュリティ利用者規則、教職員規則	1. 各種関連規則は整備済み。(R4の情報セキュリティ監査で確認済み。) 2. 情報セキュリティ・LearningをR6.9~10に実施した。 3. 情報セキュリティインシデント対応訓練の第1回をR6.11に実施し、第2回をR6.12に実施した。 4. 情報セキュリティ推進委員会開催(4/22, 5/27, 6/24, 7/29, 8/26, 10/28, 11/25, 1/6, 1/27, 2/25, 3/24)し、情報セキュリティの管理を行った。 5. R6.11に防災マニュアルを更新し、情報セキュリティの管理を行った。 6. R6.11に防火訓練を行い、R6.11に防災訓練を実施した。 7. 点検事項の検討を行っている。	100	5	十分対応している。 5	5	
管理運営	55	外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	研究主事	1. 外部資金の公募案内を校内に周知しているか。 2. 科学研究費申請書の添削支援を実施しているか。 3. 特許出願に関する支援を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	科研費申請の案内 三核特許事務所による指導を企画	科研費の申請状況を執行会議などで共有、外部資金の状況を共有し問題意識を共有している 長野高専オープンラボを設置し、活性化を図る取り組みを行っている	80	4	点検事項の再確認を行っているか。 4	4	
	56	外部の教育資源を積極的に活用しているか。	教務主事 専攻科長 研究主事	1. 外部の教育資源を積極的に活用しているか。 2. 点検・評価手法を再検討しているか。	業務訓練企業説明会実施要項 学校報告資料(技術振興委員会) R6第1回教育委員総会議事概要 R6第2回教育委員会議事概要	企業や機関の協力のもと、インターンシップ事業を進めている。 エンジニアリングデザイン科目の実施に向けて協力依頼を含めた説明を行った。 点検項目は教育委員会確認している。 エンジニアリングデザイン実務でのテーマ課題を技術振興委員会企業に募集を行っている	80	4	点検事項の再確認を行っているか。 4	4	
情報公開	57	管理運営に関わる職員員の資力の向上を図るための取組が組織的に行われているか。	事務部長	1. 定期的なSD研修会などを実施しているか。 2. その他、職員員の資力向上を図る取組を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1.SD研修会の実施 2.管理運営等の研修会への参加リスト	1. 高等機構主催の初任職員研修会(5/13~15)に2名参加 2. 高等機構主催の令和6年度事務担当者向けオープンラボ研修(5/15~6/15)に2名、オンデマンド研修(9/1~11/30)に2名、オンデマンド研修(12/15~3/15)に2名参加 3. 高等機構主催の初任教員研修会(5/27~28)に2名参加 4. 長野高専主催のメンタルヘルス(オンライン)研修(8/28)に18名参加 5. 長野高専主催の職員海外研修(シンガポールへの学生の海外研修に同行8/28~8/30)に1名参加 6. 長野高専主催の留学研修(事務系職員対象)(8月末~11月末)に1名参加 7. 長野高専主催の部下指導研修(9/28)に19名参加 8. 長野高専主催の職員海外研修(シンガポールへの学生の海外研修に同行8/28~9/30)の研修聴取会を開催(10/9) 9. 財務室主催の第62回定例会議場長人設計事務職員研修生(10/2~11/15)に1名参加 10. 高等機構主催のハラスメント防止に関する研修(動画受講)を全職員が受講 11. アンケートや報告会から点検事項の再検討を行っている。	100	5	十分対応している。 5	4	
	58	教育情報(学校教育法施行規則の事項を含む)が公表されているか。また、タイムリーな情報発信が行われているか。	総務主事(広報企画室長) 事務部長	1. 文部科学省令第15号に沿って情報公開が行われているか。 2. 公開状況の点検・整備が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	長野高専ホームページ 教育情報	1. 平成30年度の情報開示評価において、公表内容を審査されている。その後、担当教員に点検を依頼するなど、随時内容を変更している。 2. 公開情報の見直しが行われ、データ更新を行っている。 3. 本年度からホームページをリニューアルした。ホームページや地域活動、刊行物などを通じて、社会に向けた情報発信を適時に行っている。 4. 参考書の提言を受けて、執行会議において点検・評価手法の検討を行った。	85	5	十分対応している。 5	4	

達成率
点検事項
の発生案
箱に基づ
いて達成
率を算定
する

自己評価
1 達成率 0～20%
2 達成率 21～40%
3 達成率 41～60%
4 達成率 61～80%
5 達成率 81～100%

令和7年度 自己点検・評価表

確認欄

承認日:令和8年3月26日

(※は必須事項)

大項目	小項目	番号	点検項目	担当部署(担当者)	点検事項	根拠資料	現状	数値		文章		前年度 外部の意見など
								達成率%	自己評価	数値	文章	
1. 教育の内部質保証	自己点検評価	1	自己点検・評価を実施するための方針、体制が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されており、改善を測る指標になっているか。また、自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	執行会議(総務主事) 教育改善委員会(委員長)	1. 自己点検・評価の事項は改善を測る指標になっているか。 2. 点検・評価の整備基準を定めているか。 3. 点検・評価を四半期ごとに実施しているか。 4. 四半期ごとに点検・評価手法を再検討しているか。	第1期自己点検依頼(5/27校内メール) 第2期自己点検依頼(9/1校内メール) 第3期自己点検依頼(12/1校内メール) 第4期自己点検依頼(2/5校内メール)	R6年度自己点検評価表はホームページに公開 R7年度自己点検評価項目を運営会議にて確認	100	5	特になし	5	
		2	学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が、教育の質の改善・向上に繋がっているか。	執行会議(総務主事)	1. 学校構成員及び学外関係者の意見聴取の規則を定めているか。 2. 意見検討の手続きが定められているか。 3. 実施の効果について検討しているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	長野工業高等専門学校校長面談実施要項 長野工業高等専門学校職員面談実施に係る取扱いについて 参与会設置要項 第2回運営会議議事概要 R7年度業務計画依頼(4/30校内メール)、校長面談日程調整依頼メール(5/15校内メール) R7年度参加会(2/26)	R6年度教育改善委員会報告での提言を各委員会で確認するよう依頼 後援会からの要望等への対応検討	100	5	特になし	5	
	3つのポリシー	3	進学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業(修了)の認定に関する方針(ディプロマポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)、入学意の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)が定められており、社会の状況等の変化に応じて見直されているか。※	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 教育目標に沿ったDPを具体的にかつ明確に定めているか。※ 2. DPIに沿ったCPを具体的にかつ明確に定めているか。※ 3. APを具体的にかつ明確に定めているか。※ 4. 3ポリシーの見直し必要性について検討しているか。	ホームページ公開資料 第3回教務委員会議事概要 専攻科運営委員会議事概要 執行会議議事概要	1. 教育目標に沿ったDPを具体的にかつ明確に定め、ホームページ等に公開している。 2. DPIに沿ったCPを具体的にかつ明確に定めている。 3. APを具体的にかつ明確に定めている。令和7年度は編入学生のAPを定めた。 4. 3ポリシーの見直しの必要性について教務委員会及び専攻科運営委員会で検討している。	100	5	特になし	5	
2. 組織及び教員・教育支援者	学校組織	4	教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能しているか。	総務課(事務部長)	1. 定期的に各種委員会が開催されているか。 2. 運営体制が機能しているか適時点検・確認しているか。	関係規則 関係委員会議事概要 ホームページ公開資料	1. 毎月の執行会議・運営会議で各種会議・委員会からの報告がなされ、運営体制が機能していることを確認している。また、年度途中であっても、執行会議において必要があれば運営体制を見直しを行う体制としている。 2. 教育改善委員会において、各種委員会の活動状況の点検を年開通で行っており、必要に応じて次年度への改善点等の提言を行っている。	100	5	特になし	5	
		5	進学士課程、専攻科課程において、一般及び専門の教員並びに教育支援者が適切に配置されているか。	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長) 総務課(事務部長)	1. 一般科目担当教員を適切に配置しているか。 2. 専門科目担当教員を適切に配置しているか。 3. 教育支援者を適切に配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	講義科目担当一覧 Webシラバス 教育支援者の配置に関する資料 第3回教務委員会議事概要	1・2. 各教員の専門とする領域を考慮して一般科目および専門科目の担当者として配置している。 3. 実務・実習科目を中心に授業支援者として技術職員を配置している。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし	5	
	教員の評価	6	教員の採用や昇任に関する基準があり、適切な運用がされており、教員の教育研究活動に対して、定期的な評価が行われているか。	執行会議(校長) 総務課(事務部長)	1. 教員の採用や昇任に関する基準があるか。 2. 採用・昇任基準を適切に運用しているか。 3. 教員の教育研究活動を定期的に評価しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	教員選考特別 教員昇任の取扱い 教員採用基準 人事委員会議事概要 教員の教育研究活動の評価に関する要項 教員評価指標項目 執行会議議事概要	1. 教員の採用や昇任に関する基準を定めている。 2. 採用及び昇任基準を適切に運用している。 3. 教員評価指標項目を公開して、教員の教育研究活動を定期的に評価している。 4. 人事委員会で点検項目の確認を行う予定である。	100	5	特になし	5	
	FD活動	7	FD活動が実施され、教育活動の改善等に結びついているか。	教育改善委員会(委員長) 執行会議(総務主事)	1. FD研修会を3回実施しているか。 2. 実施FD研修会の効果を検討しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	【収集する資料の例】 関係規則 教育改善委員会議事概要 研修会資料、アンケート結果 など	1. 本年度3回FD研修会を実施した。現在第4回のFD開催を準備している。 2. 実施FD研修会の効果の確認の仕方を検討している。 3. 年度当初に点検事項を再検討した。	100	5	特になし	5	
学習環境	8	学校の施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。	総務課(事務部長)	1. 定期的に施設の管理状況を点検し、良好な状態で維持保全しているか。 2. 安全衛生委員会による月1回の職場巡回を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	安全衛生委員会議事概要 キャンパスマネジメント委員会議事概要 施設の点検・検査記録	1. 安全衛生委員会メンバーが毎月職場巡回(4/22, 5/19, 6/17, 7/16, 8/8, 9/19, 10/14, 11/12, 12/11, 1/15, 2/10, 3/??)を行い、職場の安全衛生を点検・確認し、同委員会が必要に応じて改善を図っている。 2. 施設の維持管理については、施設管理者による日常的な点検に加え、契約による定期点検や法定点検等を実施した。 3. 資産の有効活用を図るために、例年、居室等の稼働状況の把握を目的とした施設利用状況調査を2月に実施した。調査結果は情報共有し、稼働率が低い居室等は有効活用に向けた検討を行った。	100	5	特になし	5		
		9	学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	教務委員会(教務主事) 情報教育センター(センター長)	1. 学生のニーズ調査を実施しているか。 2. セキュリティ研修を実施しているか。 3. ICT環境の保守・点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	BYODのノートPCに関する学生アンケート結果 情報システムに関する宣言書(学生) プリンタ/ナーカードリッジ交換記録 第3回教務委員会議事概要 情報教育センター会議議事録	1. BYODによるPC環境としていることから、11月に学習環境にあったPCの選び方や必要な周辺機材などを学生を対象に調査して、次年度の学生に生かしている。 2. 校内無線LANの利用申請時に契約してもらう内容に、規約や禁止事項などを掲載させ、利用許可を与えている。 3. プリンタの消耗品の管理と共に状況を把握している。また、ネットワークの通信状況を常時監視し、異常がある時には、共有して対応を検討している。 4. 点検項目は教務委員会及び情報教育センターで確認している。	100	5	特になし	5	
	10	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究に必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されるよう取り組みが行われているか。	図書館(館長) 執行会議(総務主事)	1. 教職員・学生のニーズ調査を実施しているか。 2. 蔵書の点検を実施しているか。 3. 図書の利用状況の点検を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	1. 教職員「学生用図書の推薦について」(4/7教職員へのオールメール)、学生「リクエスト図書募集中(長野高専図書館)」(6/11学生へのオールメール) 3. 4, 5月の図書資料等貸出月計表	1. 教職員・学生ともに実施中 2. 令和6年度3月実施済み。年1回実施のため、令和7年度においては未着手。(改善点 令和7年度においても3月完了を予定している) 3. 根拠資料を、館長・係長・係員で回覧し、活用状況を把握している。 4. 検討済み	100	4	特になし			

大項目	小項目	番号	点検項目	担当部署(担当者)	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	教育改善委員会 らの発言	教育改善委員会 の小項目詳細	教育改善委員会 の大項目詳細	前年度 外部の意見など
3. 学習環境及び学生支援	学生支援 ※	11	新入生、留学生、編入生に対して、履修や施設・設備等に関するガイダンスを実施しているか。 ※	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 新入生ガイダンスを実施しているか。 ※ 2. 留学生ガイダンスを実施しているか。 ※ 3. 編入生ガイダンスを実施しているか。 ※ 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	新入生の年度当初の日程 入学式資料 第3回教務委員会議事概要	1. 進学生課程および専攻科課程の新入生については、入学式当日および翌日に実施している。 2. 進学生課程の留学生及び編入生については入学式当日に実施している。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
		12	学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。 ※	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長) 学生相談室(室長) 教育改善委員会(委員長)	1. 学生の学習活動に関して相談できる体制を整えているか。 ※ 2. 相談・助言等を行う体制が機能しているか。 3. 相談対応など、状況確認がなされているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 学生支援に関する基本方針 ホームページ公開資料 第3回教務委員会議事概要	1. オフィスアワーを設定して、学習活動に関して相談できる体制を整えている。 2. 学生からオフィスアワー等の時間に質問があった場合には、時間外教科指導履修生を確保して、体制が機能していることを確認している。 3. 自身の運営会議において学生相談室からの状況報告が行われ、情報共有されている。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。今後、他の委員会等で確認する予定である。	100	5	特になし			
		13	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等が行われているか。 ※	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長) 国際交流センター(センター長) 学生相談室(室長)	1. 特別な支援が必要となる新入生の情報を共有しているか。 2. 特別な支援が必要となる留学生の情報を共有しているか。 3. 必要な支援や配慮事項を検討しているか。 ※ 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	保護課差票 学生支援に関する基本方針 長野県における個別支援(合理的配慮)(ホームページ公開資料) 第3回教務委員会議事概要	1. 新入生について配慮が必要な情報は関係教職員間で共有している。 2. 留学生について配慮が必要な情報は関係教職員で共有している。 3. 学生相談室、スクールソーシャルワーカー、学級担任、教務主事等で支援や配慮事項を検討している。また、修学支援差(仮称)設置に向けて規程等の整備を進めている。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。今後、他の委員会等で確認する予定である。	100	5	特になし		5	
		14	学生の生活や経済面に係る指導・相談・助言等を行う体制が機能しているか。 ※	学生支援委員会(学生主事) 専攻科運営委員会(専攻科長) 学生相談室(室長)	1. 学生の生活や経済面に係る相談・助言等を行う体制が機能しているか。 ※ 2. 学生や保護者に対して各種奨学制度について周知する体制を整えているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	学級担任業務ガイド 学生便覧 相談室からのメッセージ 学生相談室報告 例えば第3回学生支援委員会資料(奨学金推薦実績等)の都度報告) 第1回学校いじめ対策委員会議事次第 学校ホームページ「経済的支援」 https://www.nagano-nct.ac.jp/life/support 例えば後援会総会(6/23)にて説明 第1回学生支援委員会資料No.1_3	1. 本科生に対しては学級担任が、専攻科生に対しては専攻科長が主に相談・助言等を行っている。また、メンタル面など専門性の高い相談事項については学生相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携して支援を行っている。いじめ対策については、学生相談室で定期的に状況を把握するとともに、学校いじめ対策委員会を定期的に開催して情報を共有して、チームで対応している。 2. 本科生の奨学支援に対しては学生課生保よりメールやホームページで各種奨学金の案内を行っている。また、保護者に対してホームページに掲載している旨を後援会の支部会等で説明している。 3. 点検項目は学生支援委員会で確認している。	100	5	特になし		5	
		15	進路指導およびキャリア教育の体制が機能しているか。	進路支援室(専攻科長) 教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長)	1. キャリア教育に関する各種セミナーを実施しているか。 2. 進路に関する相談・助言等を行う体制が機能しているか。 3. インターンシップが適切に行われているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	進路支援室協議資料 進路支援室Letter 進路訓練の手引き 学外実習の手引き 第3回教務委員会議事概要 進路支援室議事概要	1. 進路セミナーを、本科3年生(11/5)、4年生(10/1、11/12、11/19)、専攻科1年生(8/6)を対象に実施している。本科4年生を対象に、卒業生講演会(12/4)、進路講演会(12/10)を実施している。 2. 学生主事、専攻科長、専攻長、系長、学級担任、就職担当教員、キャリアコーディネーターで構成する進路支援室が進路に関する相談・助言を行っている。 3. 本科生の業務訓練は教務委員会と4学年会が中心となり、専攻科生の学外実習は専攻科運営委員会が中心となって実施している。本科4年生は5/29に企業訪問会を開催してマッチングを促るとともに、実施状況については実施機関への訪問および実習報告書で確認している。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。今後、進路支援室及び専攻科運営委員会が確認する予定である。	70	4	点検項目の確認に至るお話しはなし			
		16	課外活動に対する支援体制が、適切に機能しているか。	学生支援委員会(学生主事)	1. 課外活動の指導教員を配置して、課外活動を支援しているか。 2. 教員または課外活動指導員用の指導マニュアルに従い、課外活動が安全に実施できているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	部・同好会指導教員一覧 部・同好会活動の指導に関するガイドライン 長野高専課外活動指導員マニュアル 学生の病状、ケガに対する対応報告書 第1回学生支援委員会資料No.1_3	1. 部・同好会に指導教員を配置して、課外活動を支援している。また、平日の放課後と休日の午前中に課外活動指導員を配置して、教員の業務負担軽減を図っている。 2. 学用品部・同好会活動の指導に関するガイドライン、課外活動指導員用「長野高専課外活動指導員マニュアル」に従い、引率時や練習時やケガや体調不良となった学生が出た場合に医療機関を受診させるなど対応できている。 3. 点検項目は学生支援委員会で確認している。	100	5	特になし			
		17	学生寮が、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	寮務委員会(寮務主事)	1. 満足した生活の場を提供しているか。 2. 勉強の場を提供しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	第3回寮生協議会資料寮食アンケートまとめ 第3回寮務委員会 朝食摂食率調査実施要項 第2回寮生協議会 議事録、企画書テスト勉強会 勉強の場を提供しているか。 第5回寮務委員会 寮生意見フォームへの回答 第10回寮務委員会 議事録 自己点検項目の確認・検討	1 について ①寮務委員会で朝食摂食率調査を実施中、寮生会食堂委員が食堂調査のアンケートを実施(第3回寮生協議会議事録) 2 について 寮生会が寮生からの意見収集を行うフォームを設置、各号館に共有の冷蔵庫を設けて、管理費等(第5回寮生協議会議事録) 2 について 寮生会が既前年の勉強会企画開催(寮生協議会議事録)、日課表へのコアタイム設定と当直による館内巡視の実施(コアタイム巡視報告書) 3 について 寮務委員会にて確認・検討	100	5	特になし			
教育課程の構成 ※	授業形態、 学習指導 法※	18	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的に編成されているか。 ※	教務委員会(教務主事)	1. GPIに基づき教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	令和7年度教育課程表 第3回教務委員会議事概要	1. カリキュラムポリシーに依り、一般科目及び専門科目を配置した教育課程を編成している。 2. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
		19	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	教務委員会(教務主事)	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実践力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解・地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	ホームページ公開資料(工学科概要) 教育課程表 第3回教務委員会議事概要	1. 学科改組による新設科目を含め、一般科目および専門科目を適切に配置している。 2. 2年次にエンジニアリングデザイン入門を、4年次にエンジニアリングデザイン実践を配置して、創造性を育む教育を実施している。 3. 異文化理解のための外国史や語学科目を、地域文化理解のための科目群「長野学」を配置している。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし	5		
		20	教育内容に応じた、履修指導、適切な学習指導上の工夫がなされているか。 ※	教務委員会(教務主事)	1. 教育内容に応じた履修指導・学習指導上の工夫をしているか。 ※ 2. 指導上の工夫等について報告により確認をしているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	学習の手引き(1年生用) 教育改善報告書 第3回教務委員会議事概要	1. シラバスを使って各科目ごとの履修指導を行っている。また、1年生に対して学習の手引きを配布して履修指導を行っている。今後、学習指導上の工夫についての確認を行う予定である。 2. 教員から提出される授業改善報告書で確認している。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	50	3	特段問題ないようであるが、自己評価が低いようである。		5	
		21	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	教務委員会(教務主事)	1. GPIに沿って、適切なシラバスを作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス シラバス点検に関する申し合わせ 第3・5回教務委員会議事概要	1. GPIに沿って、令和7年度のシラバスを作成している。令和8年度のシラバス作成から、新たに定めた「シラバスの点検に関する申し合わせ」に基づき、記載内容を点検する予定である。 2. シラバスの活用については授業評価アンケートで確認している。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
		22	成績評価・単位認定及び卒業認定の各基準が学生等に周知されているか。	教務委員会(教務主事)	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 卒業認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 学生便覧(教育課程表) 第3回教務委員会議事概要	1. 成績評価・単位認定の基準はシラバスに記載して周知している。 2. 単位数および卒業要件については学生便覧(教育課程表)で周知している。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			

大項目	小項目	番号	点検項目	担当部署(担当者)	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	教育改善委員会からの 一言	教育改善委員会 の小項目詳細	教育改善委員会 の大項目詳細	前年度 外部の意見など
4. 進学生 課程の 教育方法・ 学習成果	成績評価・ 進級及び 卒業判定 ※	23	成績評価は適切に行われているか。 ※	教務委員会(教務主事) 教育改善委員会(委員長)	1. 成績評価を適切に行っているか。 ※ 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	Webシラバス 成績評価履歴 第3回教務委員会議事概要	1. 令和6年度はシラバスおよび成績評価履歴により成績評価が適切に行われていることを確認している。令和7年度についても同様に実施する予定である。 2. シラバス作成時に確認している。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし	5	5	
		24	進級判定、卒業認定が適切に行われているか。	教務委員会(教務主事)	1. 進級判定を適切に行っているか。 2. 卒業認定を適切に行っているか。 3. 進級判定・卒業認定基準を確認しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	卒業・進級判定資料 第3回教務委員会議事概要	1. 令和6年度末に開催した教員会議および臨時執行会議で進級判定を行っている。令和7年度についても同様に確認する予定である。 2. 令和6年度末に開催した教員会議および臨時執行会議で卒業判定を行っている。令和7年度についても同様に確認する予定である。 3. 教務委員会において進級および卒業認定の基準を確認している。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
		25	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※	教務委員会(教務主事)	1. 学業成績からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 2. 学会発表や学生表彰からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	卒業・進級判定資料 長野工業高等専門学校学校教育研究報告 学生表彰者一覧 第3回教務委員会議事概要	1. 令和6年度において、学年末成績より、学習・教育到達目標を達成するために設定された科目の単位習得により、学習・教育の成果が認められた。令和7年度についても同様に確認する予定である。 2. 令和6年度において、学会発表や課外活動、コンテスト等で活躍した学生の状況から、学習・教育の成果が認められた。令和7年度についても同様に確認する予定である。 3. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
	学習・教育 の成果 ※	26	卒業時の学生および卒業生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※	教務委員会(教務主事)	1. 卒業時のアンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 2. 卒業生アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 3. 企業アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	学習到達度自己評価アンケート結果 第3回教務委員会議事概要	1. 学習到達度自己評価アンケート結果より、DPIに沿った学習・教育の効果が認められる。令和7年度についても同様に確認する予定である。 2. 令和6年度に実施した卒業生アンケート結果から、DPIに沿った学習・教育の成果が認められた。なお、令和7年度は卒業生アンケートの実施予定はない(5年一度実施)。 3. 令和6年度に実施した企業アンケート結果から、DPIに沿った学習・教育の成果がおよそ認められた。なお、令和7年度は企業アンケートの実施予定はない(5年一度実施)。 4. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし	5		
		27	卒業後の進路状況から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	教務委員会(教務主事)	1. 卒業後の進路に学習・教育の成果が表れているか。 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	ホームページ広報資料(就職・進学) 進路指導状況報告書 第3回教務委員会議事概要	1. 令和6年度の進路決定状況より、就職内定率は98.9%、進学決定率は96.0%であることから、学習・教育の効果が表れている。大学編入試験における合格率は、推薦選抜は89.2%と順調だったが、一般選抜は52.8%となっており、一定の学習・教育の成果が認められた。令和7年度については、卒業時の進路決定状況から確認する予定である。 2. 点検項目は教務委員会で確認している。	100	5	特になし			
5. 専攻科 課程の 教育方法・ 学習成果	教育課程 の編成 ※	28	カリキュラム・ポリシーに基づき、教育課程が体系的並びに進学課程との連携および発展的に編成されているか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. OPIに基づき教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 2. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 教育課程表、系統図 など	1. 特例適用認定専攻科であるため、検討は行いが、変更の即時性はない。 2. 点検項目の検討は随時行っている。	100	5	特になし	5	4.75	
		29	教育課程には、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請に対応した科目、創造力・実践力を育む科目、異文化や地域の文化を理解する科目などが配置されているか。	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 学生のニーズ、学術発展の動向、社会の要請に対応した科目を配置しているか。 2. 創造力・実践力を育む科目を配置しているか。 3. 異文化理解・地域文化理解のための科目を配置しているか。 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 教育課程表、系統図 シラバス など	1. 2. 3. 特例適用認定専攻科であるため、検討は行いが変更の即時性はない。 4. 点検事項の検討は随時行っている。	100	5	特になし			
	授業形態、 学習指導 法 ※	30	教育内容に応じた、履修指導、適切な学習指導上の工夫がなされているか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 教育内容に応じて履修指導・学習指導上の工夫をしているか。 ※ 2. 指導上の工夫等について報告により確認をしているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 ガイダンス、配布資料 など	1. 年度初に履修計画書で取得単位数を確認している。 2. 「学習総まとめ科目」の履修計画書・成果の要旨の確認をしている。 3. 点検事項の確認は随時行っている。	100	5	特になし	4		
		31	カリキュラム・ポリシーに沿って、適切なシラバスが作成・活用され、研究指導が適切に行われているか。	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. OPIに沿って、シラバスを適切に作成しているか。 2. シラバスを活用しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 シラバス など	1. これからシラバスの点検を実施する。 2. 1年次の取得単位数を確認し、必要に応じて2年次の履修計画を見直すように指導している。	80	4	点検項目の確認をお願いします。			
	成績評価・ 教育方法・ 学習成果 ※	32	成績評価・単位認定及び修了認定の各基準が学生等に周知されているか。	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 成績評価・単位認定の基準を周知しているか。 2. 修了認定の基準を周知しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 学生便覧 シラバス など	1. 成績評価および単位数は、シラバスで周知している。 2. 年度当初のガイダンスで説明している。 3. 点検事項の確認は随時行っている。	100	5	特になし			
		33	成績評価は適切に行われているか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長) 教育改善委員会(委員長)	1. 成績評価を適切に行っているか。 ※ 2. 成績評価方法を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 成績評価履歴 シラバス など	1. 専攻科運営委員会で半期ごとに成績を確認している。 2. 教育改善委員会と連携して、エビデンスの確認を行う。 3. 点検事項の確認は随時行っている。	100	5	特になし	5		
34		修了認定が適切に行われているか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 修了認定を適切に行っているか。 ※ 2. 修了認定基準を確認しているか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 執行会議・教員会議・専攻科運営委員会議事概要 成績・進級・卒業判定資料 など	1. 専攻科運営委員会で確認し、執行会議で承認している。 2. 修了認定基準は半期毎の成績等で確認している。 3. 点検事項の見直しは随時行っている。	100	5	特になし				
学習・教育 の成果 ※		35	ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 学業成績からDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 2. グローバル化への対応成果が認められるか。 3. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 特別研究Ⅱ英語要項および発表 など	1. 半期ごとに成績の確認を行っている。 2. 1年次および2年次で英語のプレゼンを実施している。 3. 点検事項の見直しは随時行っている。	100	5	特になし			
	36	修了時の学生および卒業生修了生・進路先関係者からの意見聴取で、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※	専攻科運営委員会(専攻科長)	1. 修了時のアンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 2. 修了生アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 3. 企業アンケートからDPIに沿った学習・教育の成果が認められるか。 ※ 4. 点検事項の確認・検討をしているか。	【収集する資料の例】 専攻科運営委員会議事概要 修了生・企業アンケート結果 など	1. 修了時のアンケートは毎年実施している。 2. 修了生からのアンケートは5年一度実施している。 3. 企業へのアンケートは5年一度実施している。 4. 点検事項の確認は随時行っている。	100	5	特になし	5			

大項目	小項目	番号	点検項目	担当部署(担当者)	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	教育改善委員会の からの一言	教育改善委員会の 小項目評価	教育改善委員会の 大項目評価	前年度 外部の意見など
	研究活動の改善	46	研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	研究推進委員会(研究主事)	1. 研究推進委員会にて研究活動推進に関する事項を検討しているか。 2. 点検事項を再検討しているか。	【収集する資料の例】 研究推進委員会議事概要 科研申請状況、研究プロジェクト資料 など	プロジェクト申請受付締め切り6月20日、研究目標の認識合わせと合わせて、7月8日の推進委員会にてプロジェクトの申請を受け付け、承認された。研究費管理委員会の在り方を検討し、申請時に用いるセルチェックリストの充実をおこない、組織の明確化を検討している。	90	5	特になし	5		
8. 地域貢献活動等の状況	地域貢献活動の計画	47	地域貢献活動が適切に定められ、計画的に実施されているか。	地域共同テクノセンター(研究主事) 広報企画室(総務主事)	1. 地域貢献の目的を定めているか。 2. 活動計画を定めているか。 3. 計画に沿って実施しているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	・テクノセンター運営会議議事録 ・サイエンスツアー、サイエンスライブ募集 ・第1回広報企画室会議議事概要	・テクノセンター運営会議：年間スケジュールの確認及び技術振興会の総会運営などの確認を実施。 ・計画通りに実施されていることをテクノセンター会議にて確認した。 ・普光寺・しーエー研究会の計画と内容を地域の関係機関と連携して開催した。(計画は11月28日に開催) ・高速信号伝送評価研究会を開催予定(12月12日) ・地域企業に求められる分野、内容を調査し、出前講座の改善とテクノ講座のテーマ計画に反映中。	90	5	特になし	5		
	地域貢献活動の成果	48	地域貢献活動の目的等に沿った成果が得られているか。	地域共同テクノセンター(研究主事) 広報企画室(総務主事)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	【収集する資料の例】 地域共同テクノセンター、広報企画室議事概要 サイエンスツアーセミナー、サイエンスツアー等アンケート結果 など	・地域共同テクノセンターにて実施している社会人対象とした講習会などは、開催後のアンケートにて、内容の振り返りと、テーマ・内容のチェック実施、次年度の開催計画に反映している。 ・サイエンスツアー実施後アンケートより、サイエンスツアー実施が地域への貢献が確認できている。 ・テクノ講座の利用頻度が高い企業訪問をおこない、必要とされる講座の確認を実施中(テクノセンター特命安藤先生)	90	5	特になし	5	5	
	地域貢献活動の改善	49	地域貢献活動の実施状況や問題点を把握し、改善を図っているか。	地域共同テクノセンター(研究主事) 広報企画室(総務主事)	1. 成果の点検手法が定められているか。 2. 点検手法に沿って成果の確認が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	・第1回広報企画室会議議事概要 ・第3回地域共同テクノセンター運営会議議事録	・昨年度の活動を確認し、本年度の活動を計画 ・テクノ講座、研究会の開催後のアンケート内容や受講者のご意見を伺い見直しを検討 ・テクノセンターの講習会利用率の高い企業から、ヒアリングを実施している。個別の出前講座の希望があり、内容など調整中。 ・サイエンスツアー実施後アンケートより、サイエンスツアーの課題の把握を行っている。 ・地域企業の抱える困りごとを確認中(テクノセンター特命：安藤先生)	90	5	特になし	5		
9. 財務及び管理運営と情報公開	財務関係	50	適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	総務課(事務部長)	1. 効率的・効果的な収支計画(見積)を策定しているか。 2. 学内会議等で予算配分方針を周知しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. 予算配分方針 2. 予算配分	1. 6月19日の執行会議にて予算配分方針案等が承認された。 2. 7月3日の運営会議で予算配分方針・予算配分の報告を行った。 3. 7月3日の運営会議の資料をグループウェアの議事概要として掲載した。	100	5	特になし			
		51	適切に予算が配分され、その執行状況の確認が行われているか。	総務課(事務部長)	1. 予算配分方針に基づき、適切な予算配分をしているか。 2. 定期的に、予算執行状況を確認しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. 予算配分方針 2. 予算配分 3. 予算執行集計表 4. 予算差引簿	1. 6月19日の執行会議にて予算配分方針・予算配分が承認された。 2. 定期的に執行状況を確認し、執行率が低い場合は執行予定等を確認し、早期執行を促していた。	100	5	特になし	5		
		52	適切に予算が執行され、その結果が公表されているか。	総務課(事務部長)	1. 定期的に予算執行状況を把握しているか。 2. 決算状況について、HP等で公表しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	1. HP・学校要覧(財務状況) ・収入・決算簿 ・外部資金受入状況 ・科学研究費交付決定状況	1. 予算配分承認後、定期的に予算執行状況の把握を行った。 2. 6月末にホームページへ前年度の財務状況の公表を行った。	100	5	特になし			
管理運営	53	各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	総務課(事務部長)	1. 時宜に応じた事務組織等の見直しを行っているか。 2. 事務組織等の人員配置などについて定期的に点検・確認しているか。 3. 教育改善委員会で各種委員会の活動状況の点検を行っているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	内部組織規則、委員会規則 任務分掌一覧 事務組織および事務分掌規則 委員会活動状況の点検結果(教育改善報告書)	1. 第2四半期頃より次年度の事務組織等の人員配置を検討し、必要に応じて人員配置の見直しを行った。 2. 事務組織の人員配置の検討材料の一つとして、半期ごとの業績評価時における職員面談を通じて、現在の業務状況なども確認した。 3. 年度末に教育改善委員会で各種委員会・センター等が適切に活動しているか点検を行った。(令和3年3月「令和7年度教育改善報告書」)	100	5	特になし				
	54	情報セキュリティを含む危機管理等の安全管理体制が整備され、規則に沿った運用がなされているか。	執行会議(総務主事) 総務課(事務部長)	1. 安全管理規則が定められているか。 2. 規則に沿って研修が行われているか。 3. 規則に沿った安全管理対応が行われているか。 4. 点検・評価手法を再検討しているか。	1. リスク管理規則 2. 情報セキュリティ管理・推進 規則 3. 防災マニュアル 3. 情報セキュリティ利用者規則、教職員規則	1. 教職員向け誓約書及びセルフチェックリスト実施(5/30期限)済み 2. 情報セキュリティ-Learningを9/1～10/10で実施済み 3. 情報セキュリティインシデント対応訓練を10/24、11/10に実施した。 4. 情報セキュリティ推進委員会を開催(4/24、5/28、6/25、7/30、10/3、10/29、11/25、12/26、1/27、2/25、3/??)し、情報セキュリティの管理を行っている。 5. R7.5に防災マニュアルを更新した。 6. R7.5に防災訓練を行い、年度内に防火訓練を実施予定。 7. 令和7年度情報セキュリティ監査を9/29～30で受審した。また、監査員からの指摘事項に対して2/6までに対応済み。 8. 点検事項の検討を行っている。	100	5	特になし				
	55	外部資金を積極的に受入れる取組を行っているか。	研究推進委員会(研究主事)	1. 外部資金の公募案内を校内に周知しているか。 2. 科学研究費申請書の添削支援を実施しているか。 3. 特許出願に関する支援を実施しているか。 4. 点検事項を再検討しているか。	【収集する資料の例】 研究推進委員会議事概要 研究費申請状況、研究プロジェクト申請状況 など	・科研費申請のアンケート調査6月20日までに、7月科研費申請に向けたサポート体制の決定を7月8日の研究推進委員会にて実施。 ・外部資金獲得に対する対応について、研究推進委員会にて(オーフンラボ研究費、助成金、寄附金)の対策を検討する予定。	80	4	点検項目の確認をお願いします。	5			
	56	外部の教育資源を積極的に活用しているか。	教務委員会(教務主事) 専攻科運営委員会(専攻科長) 地域共同テクノセンター(研究主事)	1. 外部の教育資源を積極的に活用しているか。 2. 点検・評価手法を再検討しているか。	実務訓練企業説明会実施要項 技術振興会総会議事概要 第9回教務委員会議事概要	1. 企業や機関の協力のもと、インターンシップ事業を行っている。また、エンジニアリングデザイン実証では技術振興会会員企業に協力を受けて実施している。 2. 点検項目は教務委員会が確認している。	100	5	特になし				
	57	管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組が組織的に行われているか。	総務課(事務部長)	1. 定期的にSD研修会などを実施しているか。 2. その他、職員の資質向上を図る取組を実施しているか。 3. 点検事項を再検討しているか。	SDに関する要項 SD研修会実施一覧	1. 高専機構主催の初任職員研修会(4/16～18)に1名参加 2. 高専機構主催の初任教員研修会(5/15～18)に4名参加 3. 高専機構主催の令和7年度学務担当者向けオンデマンド研修(5/15～8/15)に1名参加 4. 9/4ストレスチェック集団分析結果説明会に教員9名、事務系職員6名、技術系職員3名参加、9/19 説明力向上研修に36名参加 5. 長野高専主催の職員海外研修(シンガポールへの学生の海外研修に同行9/1～9/5)に1名参加 6. 長野高専主催の職員海外研修(シンガポールへの学生の海外研修に同行9/1～9/5)の研修報告会(10/14)を開催し、教員3名、事務系及び技術系職員20名参加 7. ハラスメント防止に関する研修(12/8～3/6)実施済み(全教職員対象)	100	5	点検項目の確認をお願いします。				

大項目	小項目	番号	点検項目	担当部署(担当者)	点検事項	根拠資料	現状	達成率%	自己評価	教育改善委員会からの提言	教育改善委員会の小項目評価	教育改善委員会の大項目評価	前年度 外部の意見など
	情報公開	58	教育情報(学校教育法施行規則の事項を含む)が公表されているか。また、タイムリーな情報発信が行われているか。	広報企画室(総務主事) 総務課(事務部長)	1. 文部科学省令第15号に沿って情報公開が行われているか。 2. 公開状況の点検・整備が行われているか。 3. 点検・評価手法を再検討しているか。	長野高专ホームページ 教育情報	・Researchmapの記載状況の点検を実施した。(5月) ・月次行事の発信を開始した。(7月) ・SNS利用を定義し、学校公認のものをホームページに掲載した。(8月) ・ホームページの情報公開の状況を随時点検し、改善に努めている。	100	5	点検項目の確認をお願いします。	4		

(※は必須事項)

達成率
点検事項
の実施実
績に基づ
いて達成
率を算定
する

自己評価

- 1 達成率 0～20%
- 2 達成率 21～40%
- 3 達成率 41～60%
- 4 達成率 61～80%
- 5 達成率 81～100%

自己点検評価報告書 第13報

2026年3月

長野工業高等専門学校

〒381-8550 長野市大字徳間 716

TEL 026-295-7003 (総務課)

FAX 026-295-4356 (総務課)